

6 メディア・コミュニケーションのこと

< 友だちとのコミュニケーション方法 >

問18	あなたにとって、友だちとコミュニケーション(気持ちや情報を伝えることなど)をとるとき、いちばん気持ちが楽な方法はどれですか。一つ選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

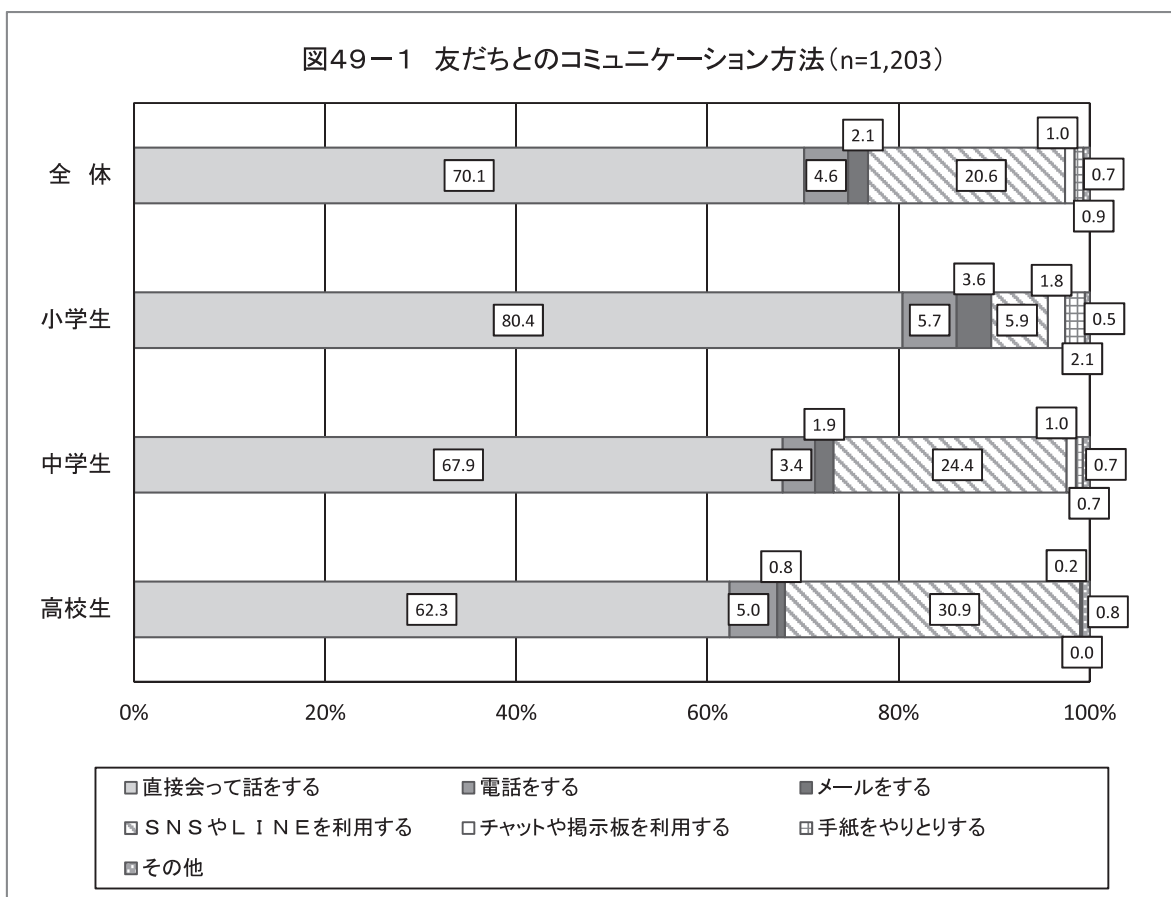
友だちとのコミュニケーション方法について尋ねたところ、「直接会って話をする」が70.1%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(20.6%)、「電話をする」(4.6%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「直接会って話をする」が80.4%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(5.9%)、「電話をする」(5.7%)などとなっている。

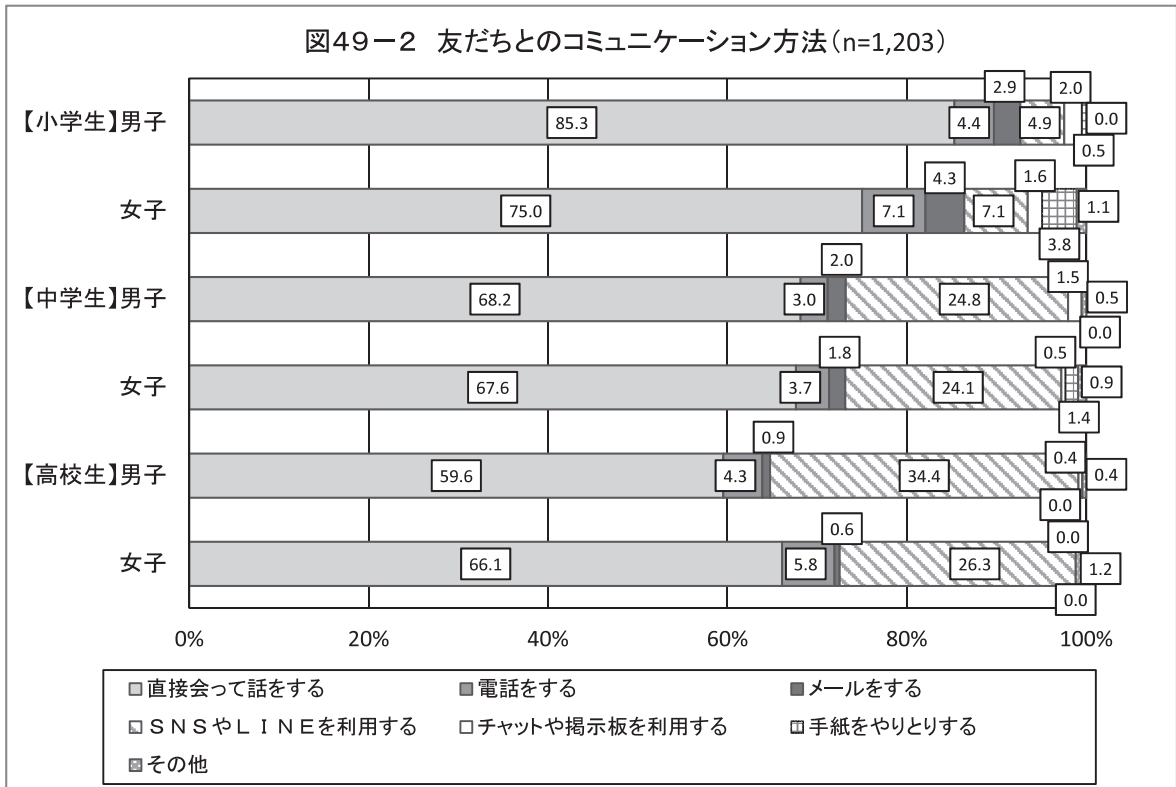
中学生では、「直接会って話をする」が67.9%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(24.4%)、「電話をする」(3.4%)などとなっている。

高校生では、「直接会って話をする」が62.3%で最も高く、以下、「SNSやLINEを利用する」(30.9%)、「電話をする」(5.0%)などとなっている。



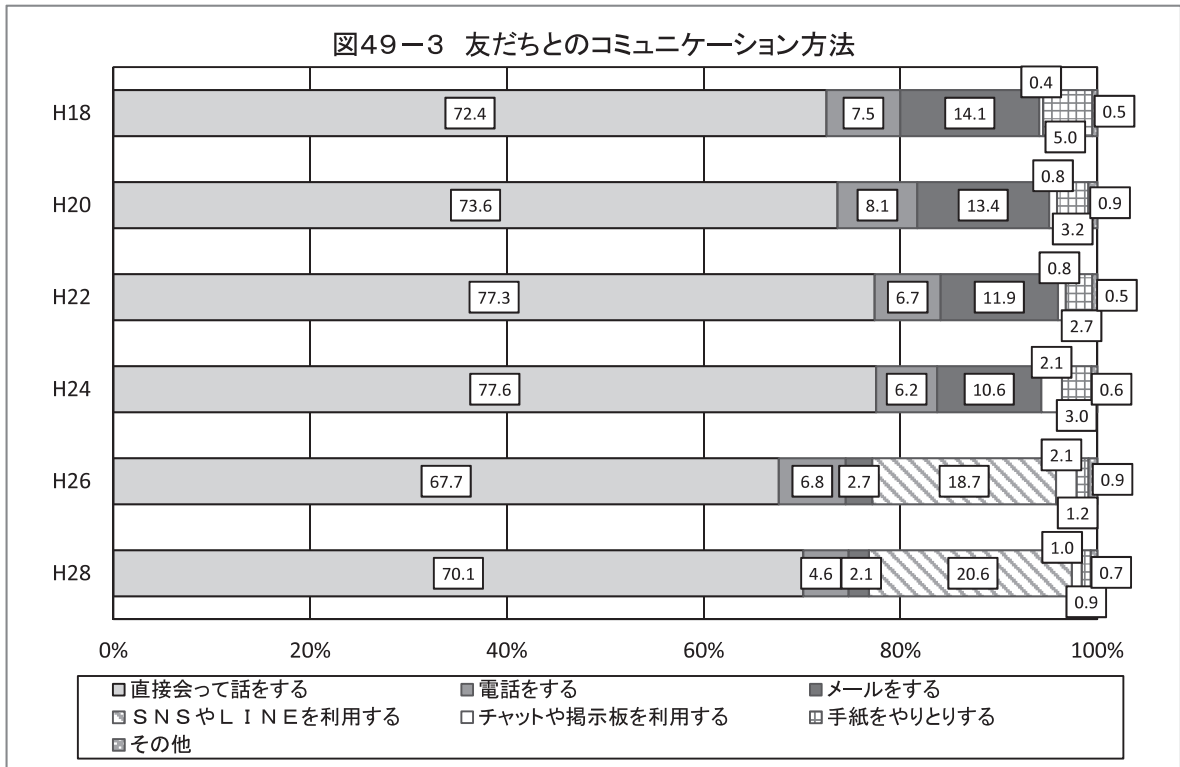
【属性別集計結果】

「SNSやLINEを利用する」を見てみると、高校男子が34.4%で最も高く、以下高校女子(26.3%)、中学男子(24.8%)となっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「直接会って話をする」、「メールをする」のポイントが減少している。一方、「SNSやLINEを利用する」のポイントが増加している。



< 携帯電話・スマートフォンの所有状況 >

問19 携帯電話・スマートフォンについてお聞きします。

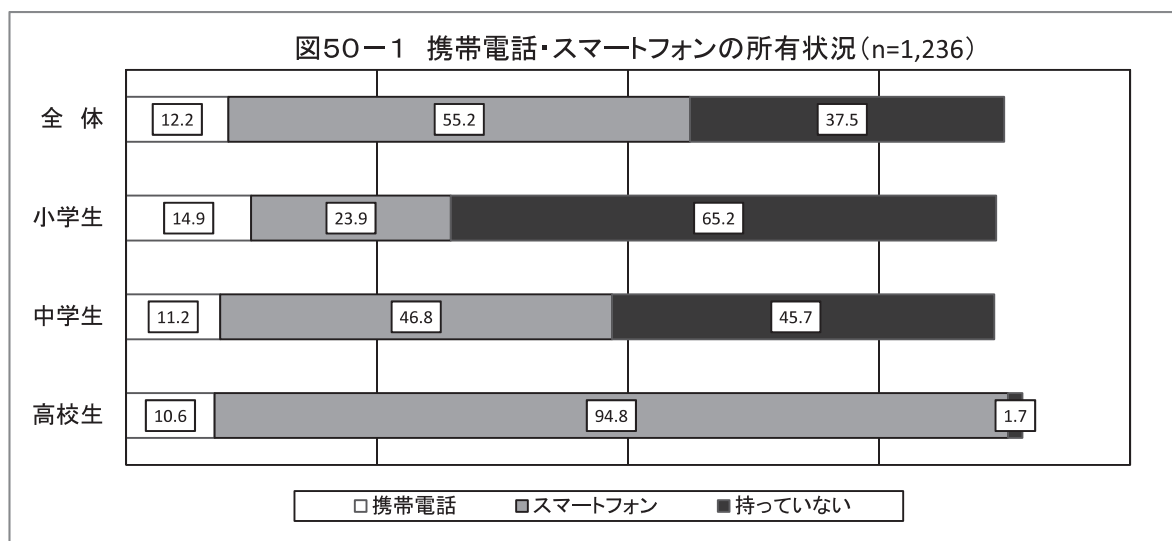
(1)	あなたが現在、自分専用で持っているものはありますか。(携帯電話、スマートフォンの両方を持っている人は、1と2の両方を選んでください。)
-----	---

【全体集計結果】

現在、自分専用で持っているものはどちらか(携帯電話・スマートフォン)を尋ねたところ、「携帯電話を持っている」が12.2%、「スマートフォンを持っている」が55.2%、「持っていない」が37.5%となっている。

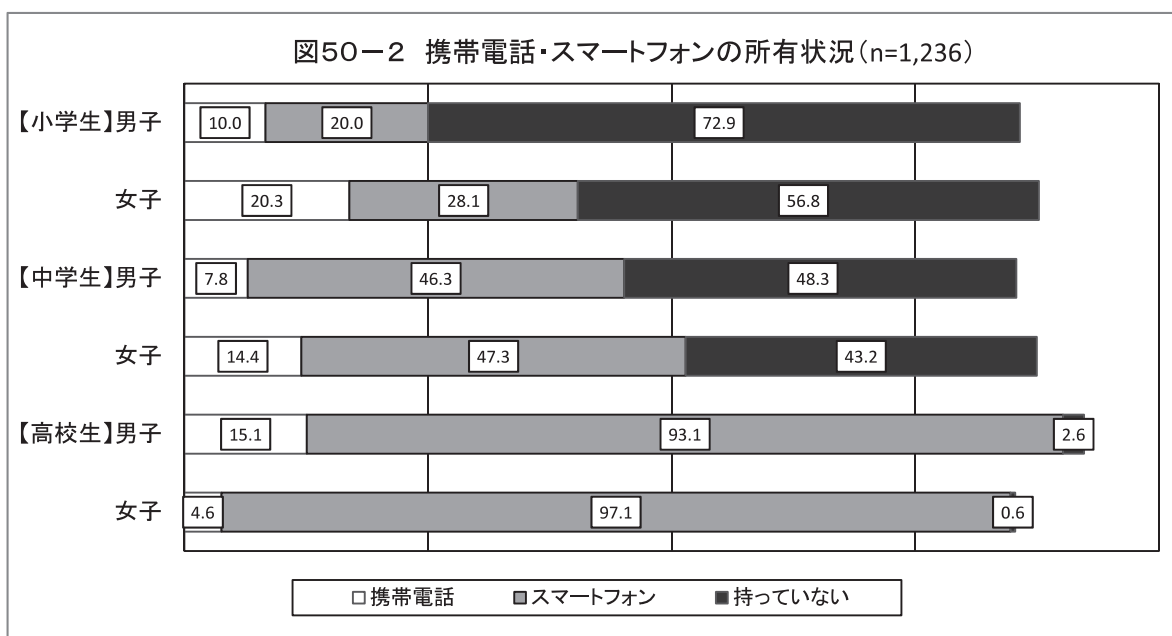
【学校種別集計結果】

携帯電話・スマートフォンの所有率が最も高いのは、高校生の105.4%で、以下、中学生(58.0%)、小学生(38.8%)となっている。



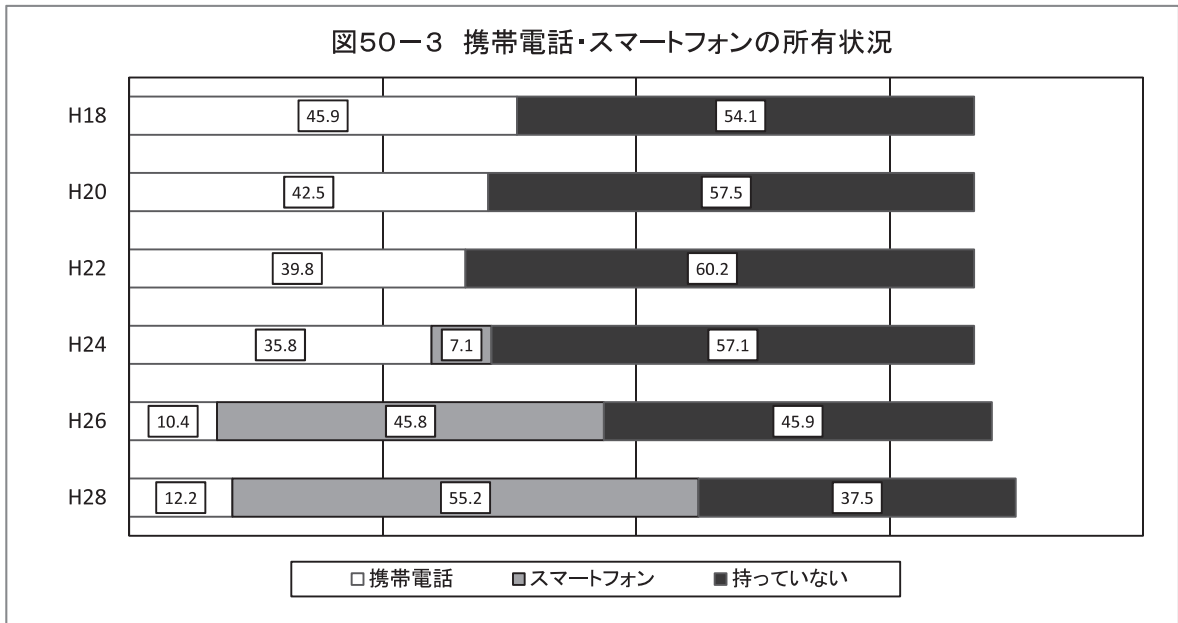
【属性別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも所有率が高い。スマートフォンの所有状況を見ると、高校生の女子が97.1%で最も高い。



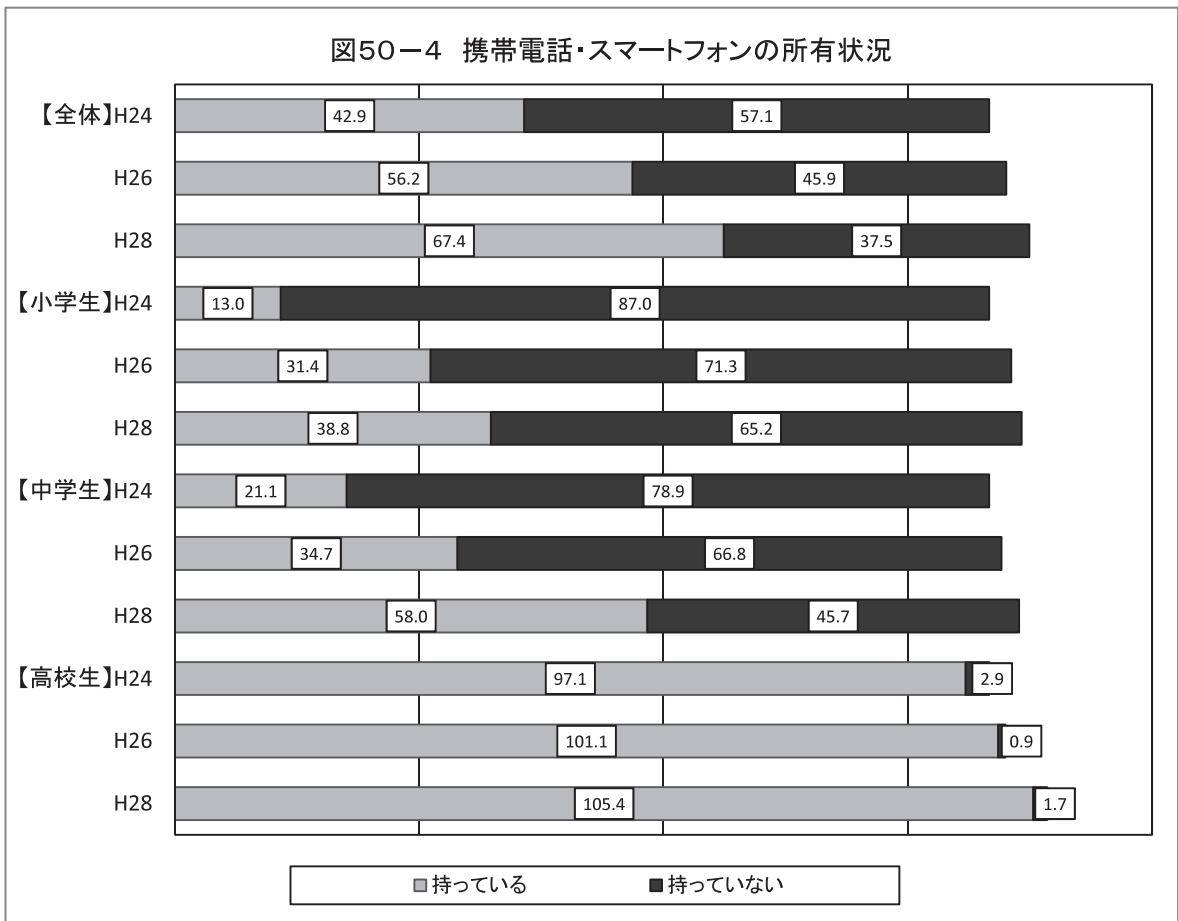
【経年変化】

過去の調査と比較すると、携帯電話・スマートフォンの所有率が増加している。また、28年度調査では、スマートフォンの所有率が半数以上となっている。



【時系列比較(平成22年度、24年度、26年度と28年度との調査比較)】

26年度の所有率と比較すると、全体では11.2ポイント増加している。学校種別に所有率を見てみると、小学生では7.4ポイント、中学校では23.3ポイント、高校生では4.3ポイント増加している。



< 携帯電話・スマートフォンの使用目的 >

(2)	(1)で1, 2を選んだ人にお聞きします。あなたは、携帯電話やスマートフォンをどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

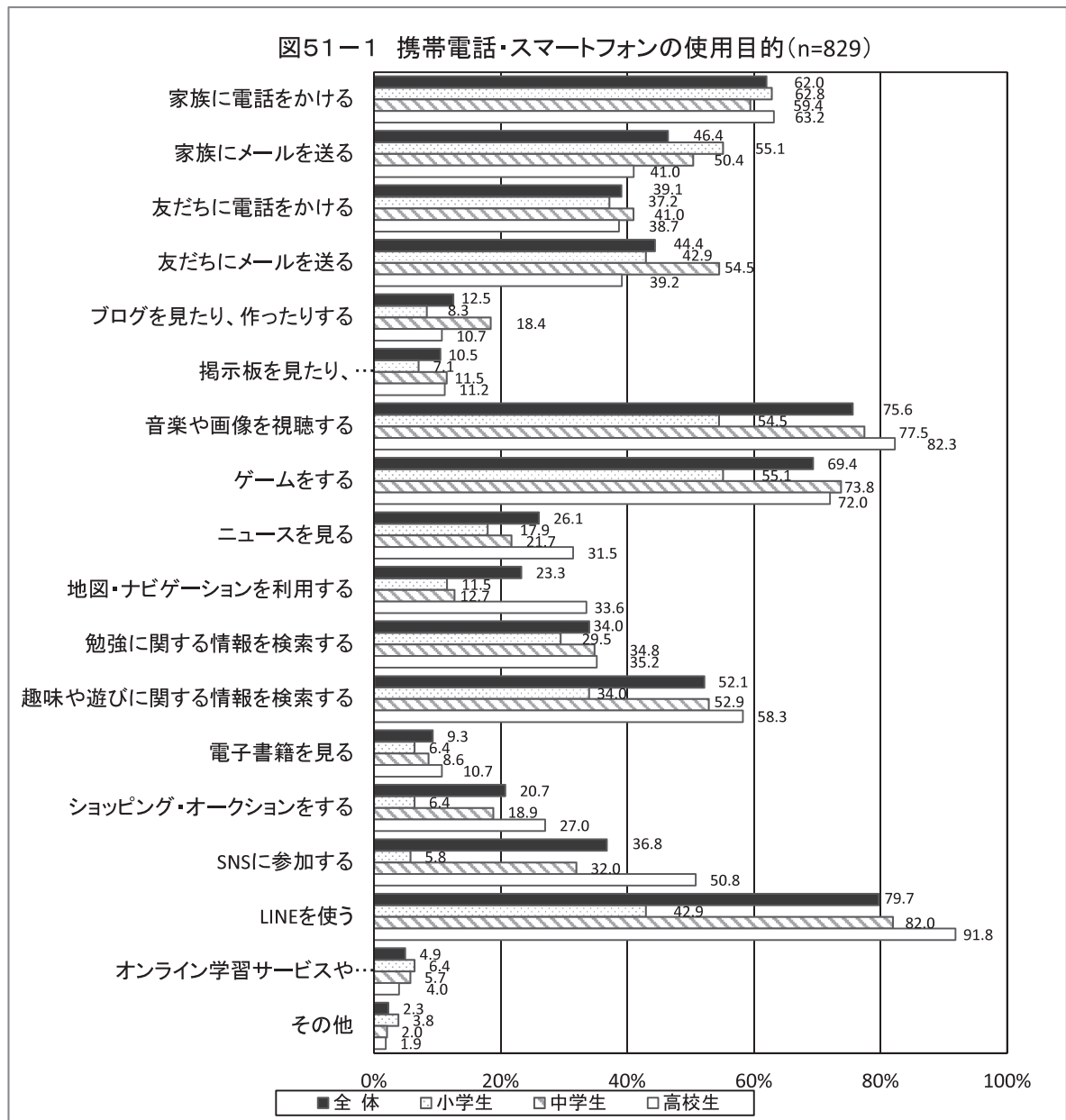
携帯電話・スマートフォンの使用目的を尋ねたところ、「LINEを使う」が79.7%で最も高く、以下、「音楽や画像を視聴する」(75.6%)、「ゲームをする」(69.4%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「家族に電話をかける」(62.8%)、「家族にメールを送る」(55.1%)、「ゲームをする」(55.1%)が上位を占めている。

中学生では、「LINEを使う」(82.0%)、「音楽や画像を視聴する」(77.5%)、「ゲームをする」(73.8%)が上位を占めている。

高校生では、「LINEを使う」(91.8%)、「音楽や画像を視聴する」(82.3%)、「ゲームをする」(72.0%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を三つ挙げると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「家族に電話をかける」(63.5%)
- 「ゲームをする」(63.5%)
- 「音楽や画像を視聴する」(50.8%)

〈中学男子〉

- 「ゲームをする」(89.7%)
- 「LINEを使う」(78.5%)
- 「音楽や画像を視聴する」(74.8%)

〈高校男子〉

- 「LINEを使う」(89.2%)
- 「ゲームをする」(82.1%)
- 「音楽や画像を視聴する」(78.1%)

〈小学女子〉

- 「家族に電話をかける」(62.4%)
- 「家族にメールを送る」(60.2%)
- 「音楽や画像を視聴する」(57.0%)

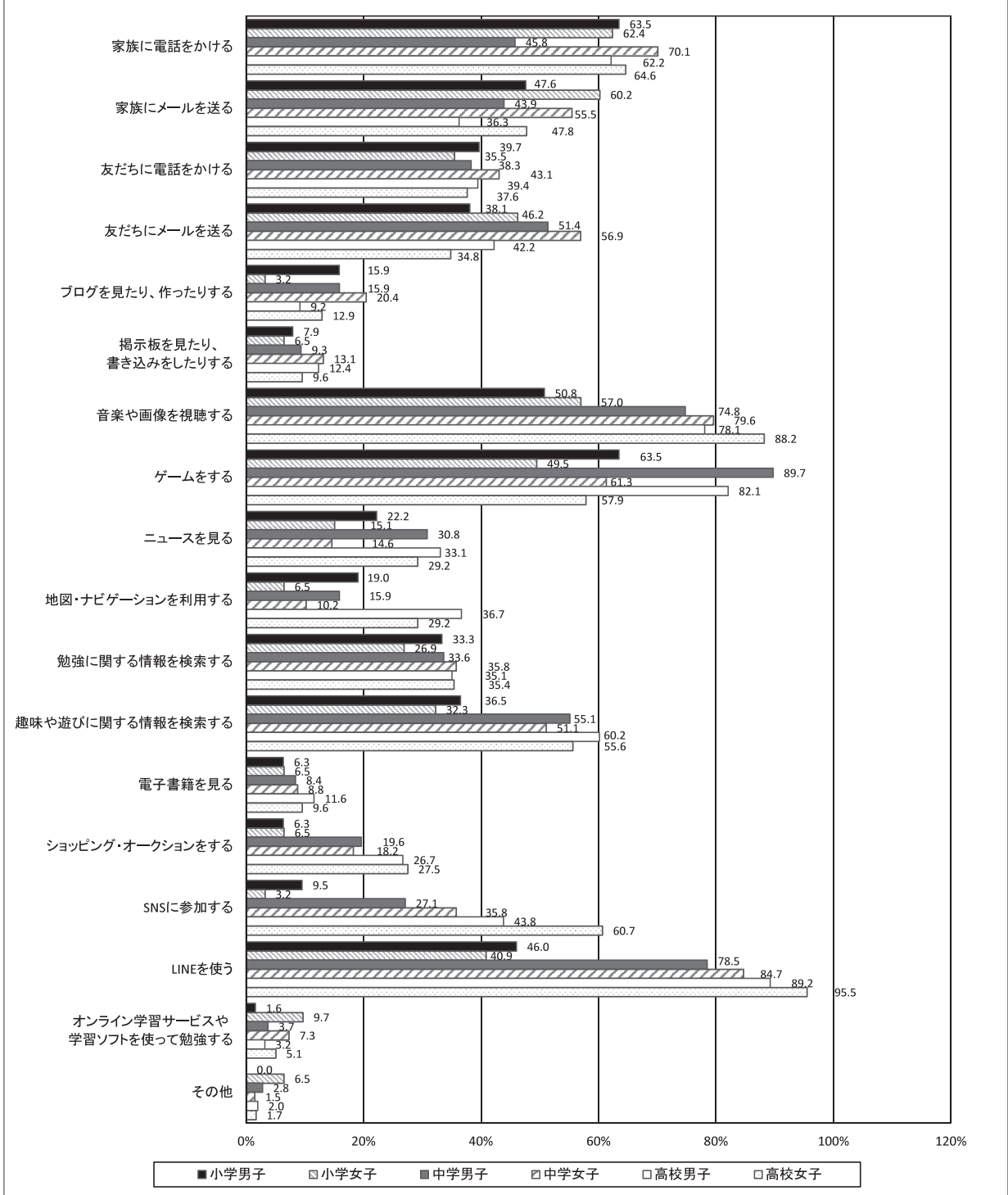
〈中学女子〉

- 「LINEを使う」(84.7%)
- 「音楽や画像を視聴する」(79.6%)
- 「家族に電話をかける」(70.1%)

〈高校女子〉

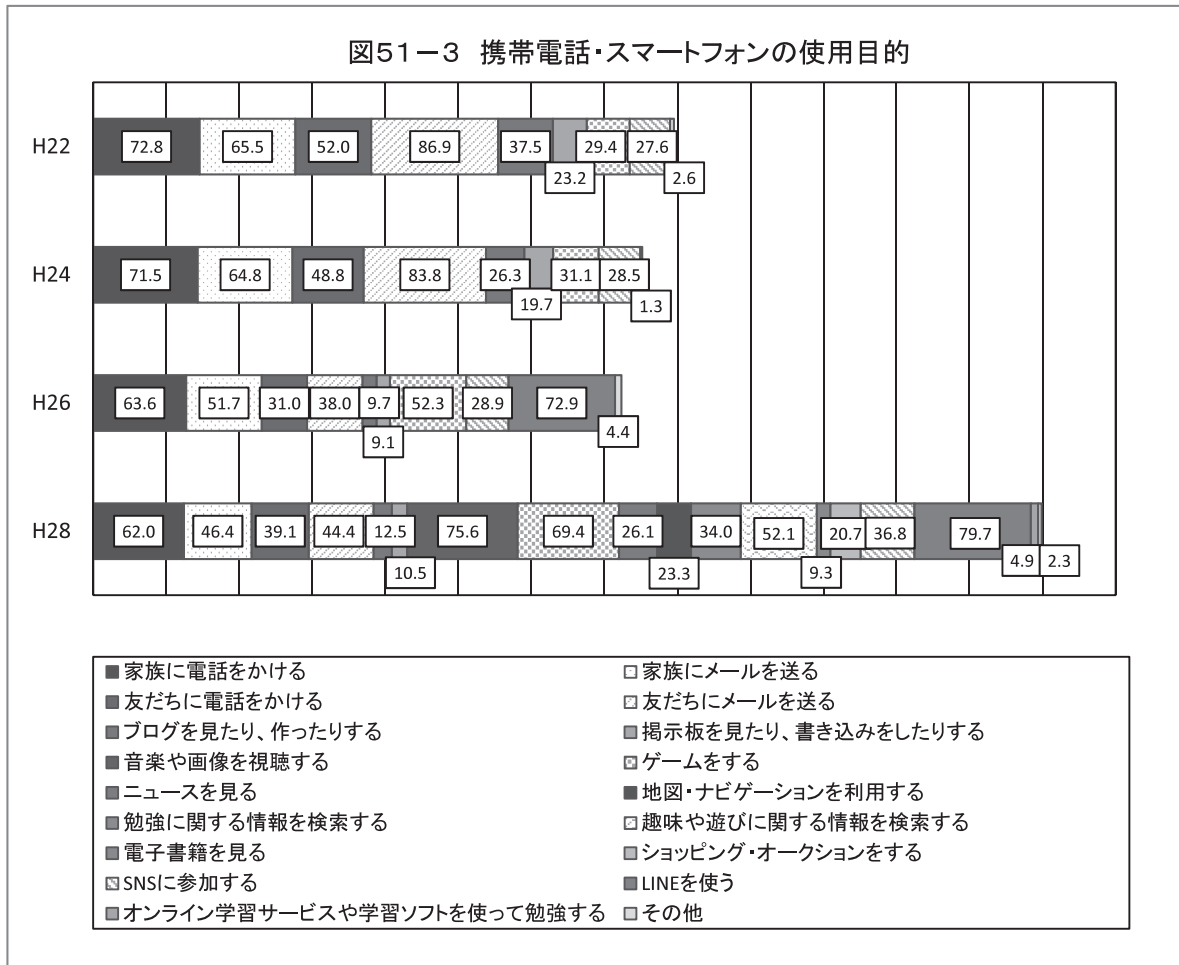
- 「LINEを使う」(95.5%)
- 「音楽や画像を視聴する」(88.2%)
- 「家族に電話をかける」(64.6%)

図51-2 携帯電話・スマートフォンの使用目的



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「家族にメールを送る」、「友だちにメールを送る」が減少している。一方、「ゲームをする」、「LINEを使う」が増加している。



< SNSの参加目的 >

(3) (2)で「15 SNSに参加する」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

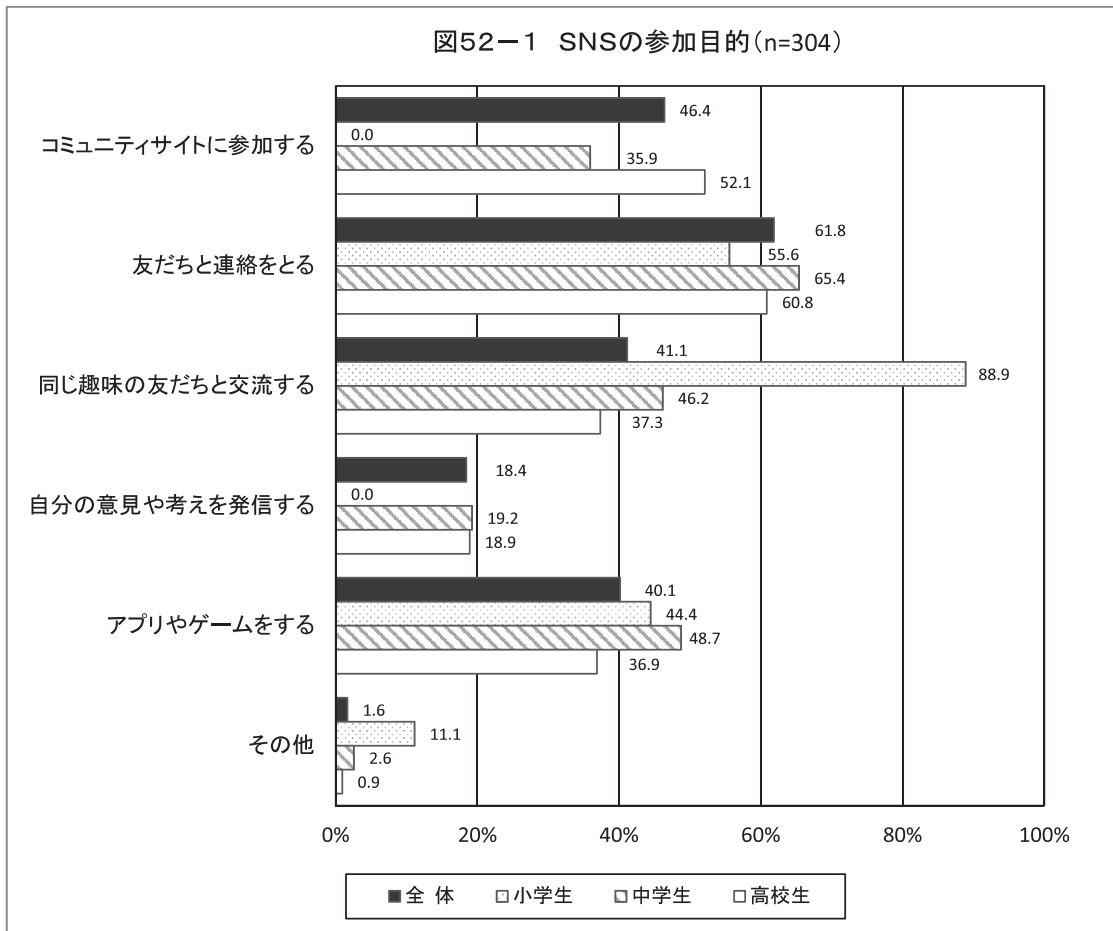
SNSの使用目的を尋ねたところ「友だちと連絡をとる」が61.8%で最も高く、以下、「コミュニティサイトに参加する」(46.4%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(41.1%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「同じ趣味の友だちと交流する」(88.9%)、「友だちと連絡をとる」(55.6%)が上位を占めている。

中学生では、「友だちと連絡をとる」(65.4%)、「アプリやゲームをする」(48.7%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(46.2%)が上位を占めている。

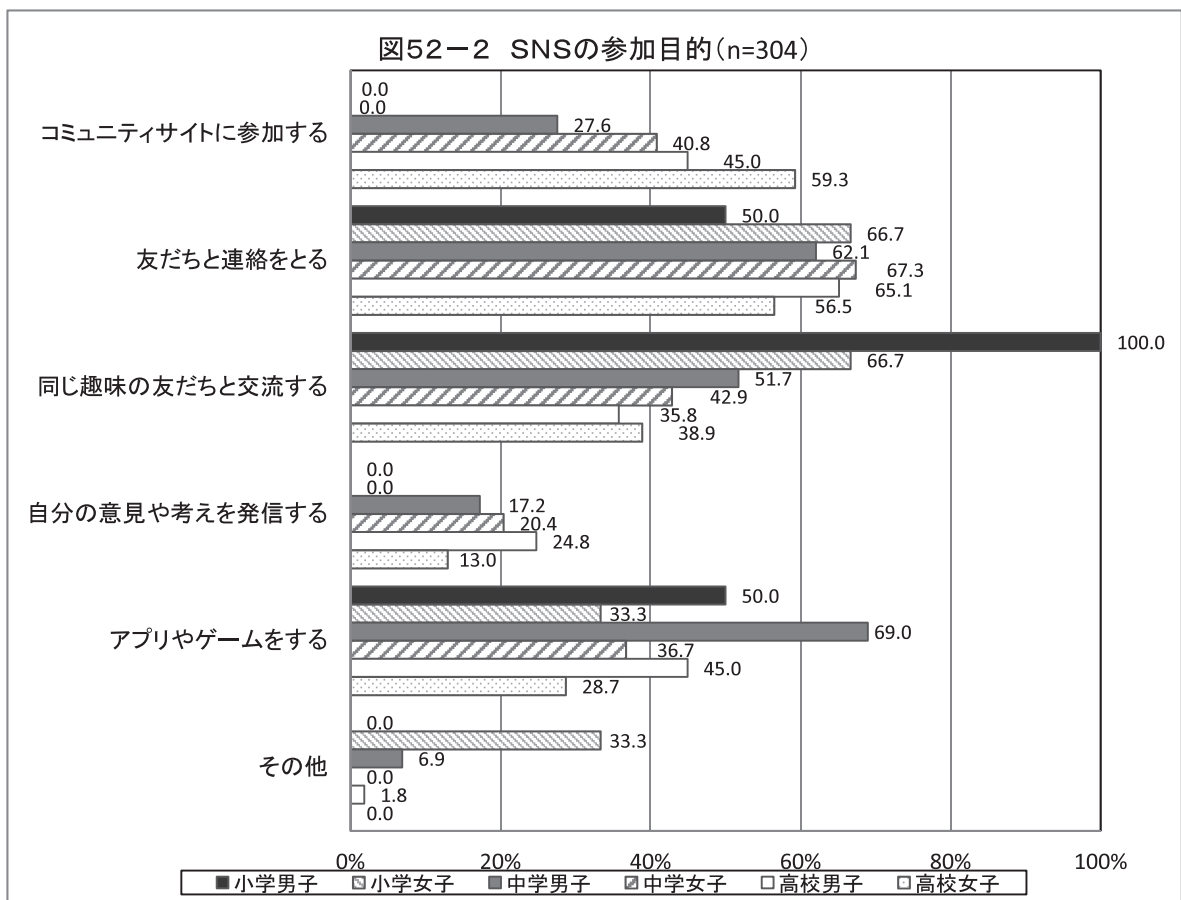
高校生では、「友だちと連絡をとる」(60.8%)、「コミュニティサイトに参加する」(52.1%)が上位を占めている。



【属性別集計結果】

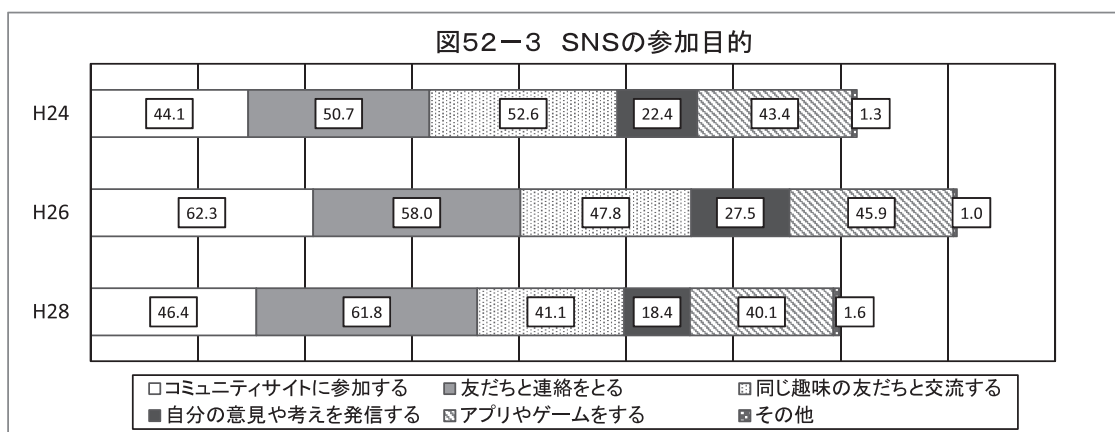
小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

<p>〈小学男子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「同じ趣味の友だちと交流する」(100%) 「友だちと連絡をとる」(50.0%) 「アプリやゲームをする」(50.0%) 	<p>〈小学女子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「友だちと連絡をとる」(66.7%) 「同じ趣味の友だちと交流する」(66.7%)
<p>〈中学男子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アプリやゲームをする」(69.0%) 「友だちと連絡をとる」(62.1%) 「同じ趣味の友だちと交流する」(51.7%) 	<p>〈中学女子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「友だちと連絡をとる」(67.3%) 「同じ趣味の友だちと交流する」(42.9%) 「コミュニティサイトに参加する」(40.8%)
<p>〈高校男子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「友だちと連絡をとる」(65.1%) 「コミュニティサイトに参加する」(45.0%) 「アプリやゲームをする」(45.0%) 	<p>〈高校女子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コミュニティサイトに参加する」(59.3%) 「友だちと連絡をとる」(56.5%)



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「友だちと連絡をとる」が増加している。一方、「同じ趣味の友だちと交流する」、「自分の意見や考えを発信する」が減少している。



< LINEの使用目的 >

(4) (2)で「16 LINEを使う」を選んだ人にお聞きします。どんな目的で使うことが多いですか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。

【全体集計結果】

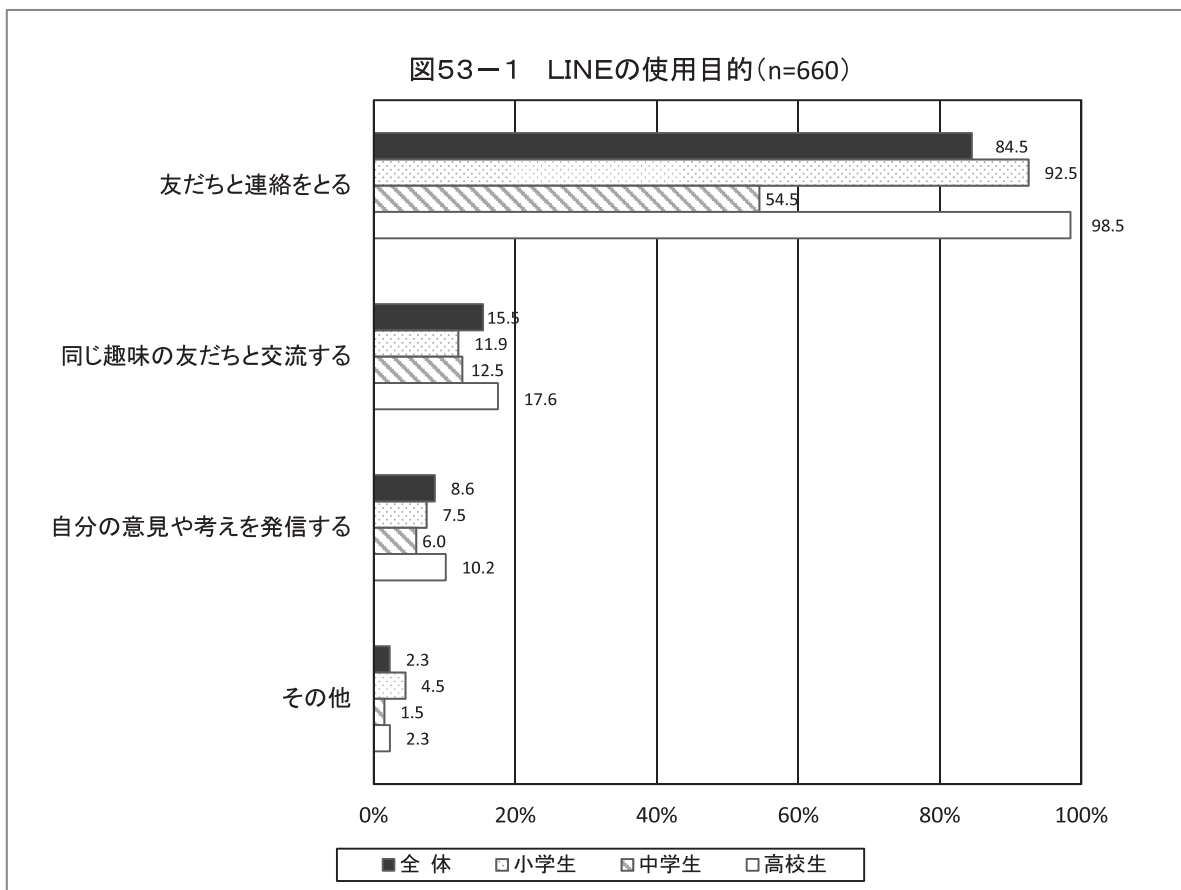
LINEの使用目的を尋ねたところ、「友だちと連絡をとる」が84.5%で最も高く、以下「同じ趣味の友だちと交流する」(15.5%)、「自分の意見や考えを発信する」(8.6%)などとなっている。また、「その他」では、「家族との連絡をとる」が多くなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「友だちと連絡をとる」(92.5%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(11.9%)、「自分の意見や考えを発信する」(7.5%)となっている。

中学生では、「友だちと連絡をとる」(54.5%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(12.5%)、「自分の意見や考えを発信する」(6.0%)となっている。

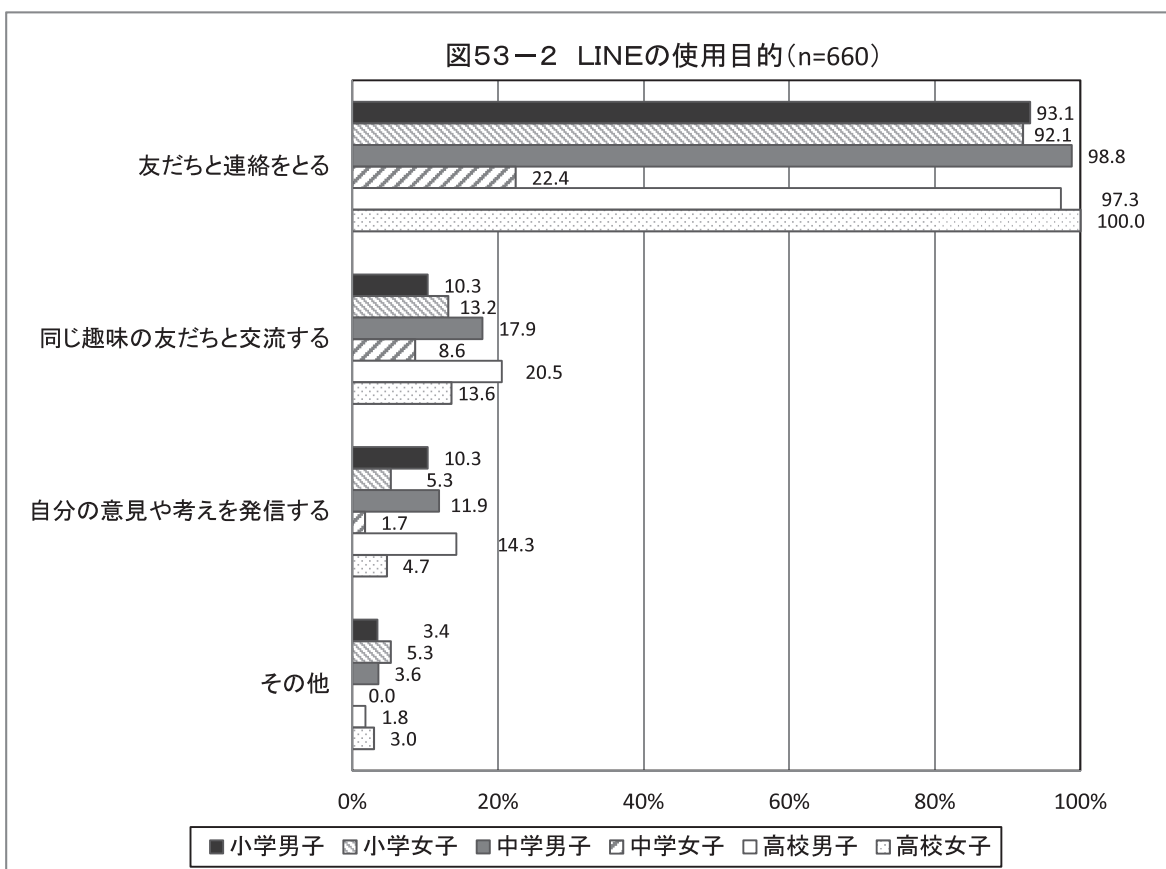
高校生では、「友だちと連絡をとる」(98.5%)、「同じ趣味の友だちと交流する」(17.6%)、「自分の意見や考えを発信する」(10.2%)となっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉	〈小学女子〉
「友だちと連絡をとる」(93.1%)	「友だちと連絡をとる」(92.1%)
「同じ趣味の友だちと交流する」(10.3%)	「同じ趣味の友だちと交流する」(13.2%)
「自分の意見や考えを発信する」(10.3%)	
〈中学男子〉	〈中学女子〉
「友だちと連絡をとる」(98.8%)	「友だちと連絡をとる」(22.4%)
「同じ趣味の友だちと交流する」(17.9%)	
「自分の意見や考えを発信する」(11.9%)	
〈高校男子〉	〈高校女子〉
「友だちと連絡をとる」(97.3%)	「友だちと連絡をとる」(100.0%)
「同じ趣味の友だちと交流する」(20.5%)	「同じ趣味の友だちと交流する」(13.6%)
「自分の意見や考えを発信する」(14.3%)	



< 携帯電話・スマートフォンの使用時間 >

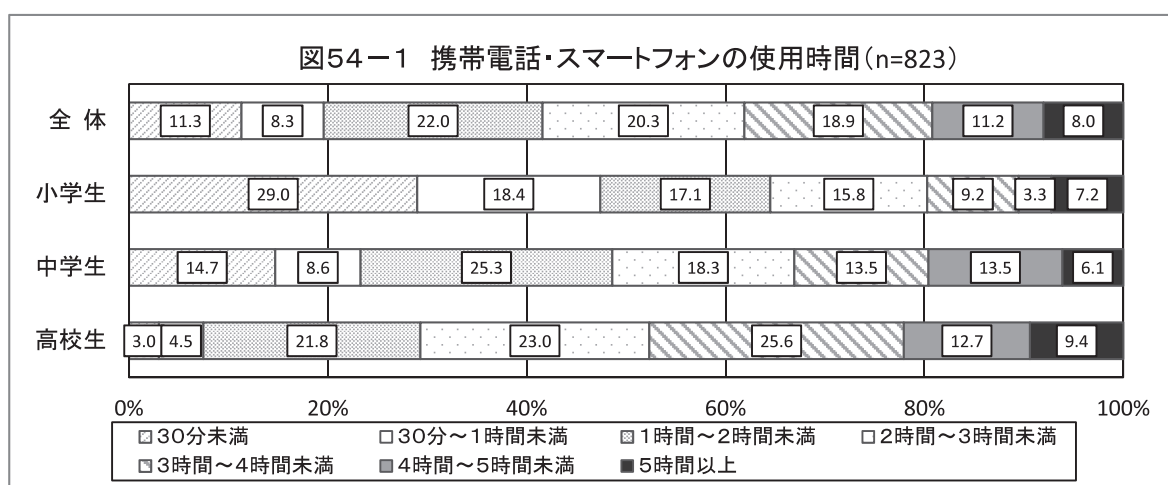
(5) (1)で1、2を選んだ人にお聞きします。あなたは、携帯電話やスマートフォンを1日にどのくらい使用していますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話・スマートフォンの使用時間を尋ねたところ、「1時間～2時間未満」が22.0%で最も高く、以下「2時間～3時間未満」(20.3%)、「3時間～4時間未満」(18.9%)などとなっている。
また、「5時間以上」では6～10時間の回答が多く、中には、24時間などの回答もあった。

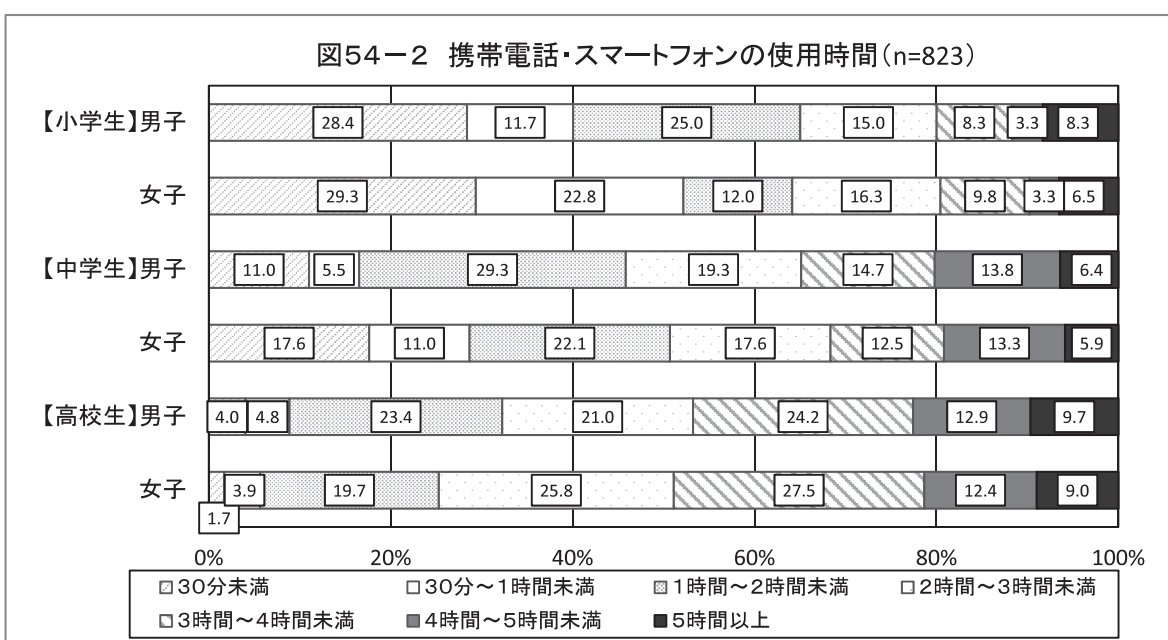
【学校種別集計結果】

学校種別に携帯電話・スマートフォンの使用時間について見てみると、小学生は「30分未満」が29.0%で最も高く、中学生は「1時間～2時間未満」が25.3%、高校生は「3時間～4時間未満」が25.6%で最も高い。



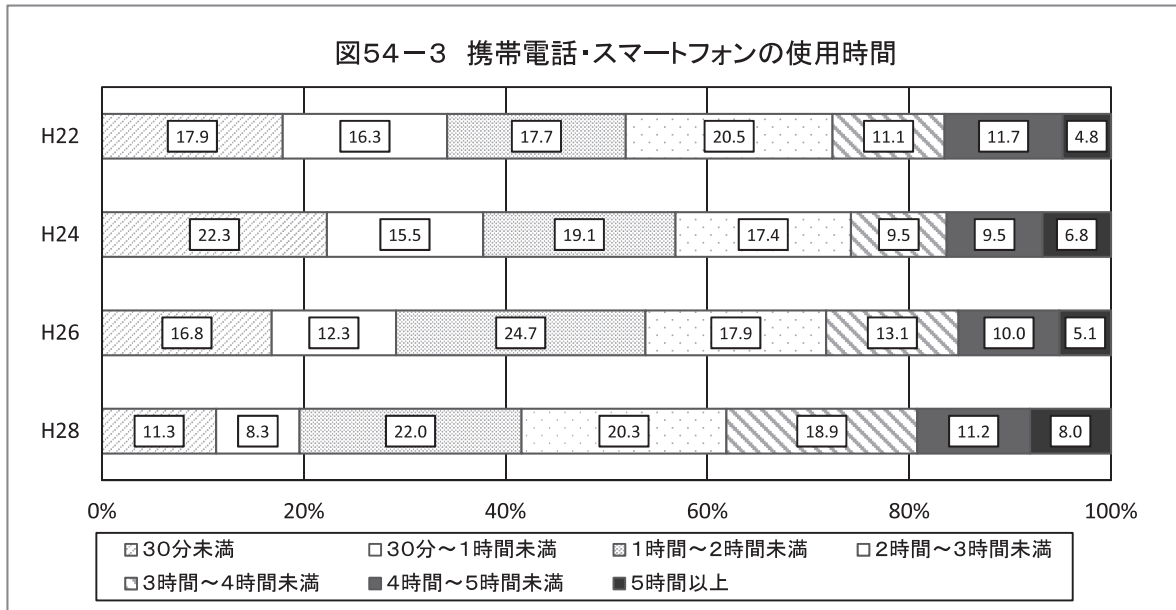
【属性別集計結果】

属性別に携帯電話・スマートフォンの使用時間を見てみると、小学生は「30分未満」(男子28.4%、女子29.3%)が男女ともに最も高い。また、中学生は「1時間～2時間未満」(男子29.3%、女子22.1%)が男女ともに最も高い。高校生は「3時間～4時間未満」(男子24.2%、女子27.5%)が男女ともに最も高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、3時間以上（「3時間～4時間未満」、「4時間～5時間未満」、「5時間以上」）が増加し、一方で、1時間未満（「30分未満」、「30分～1時間未満」）が減少している。



< フィルタリング機能の認知状況(携帯電話・スマートフォン) >

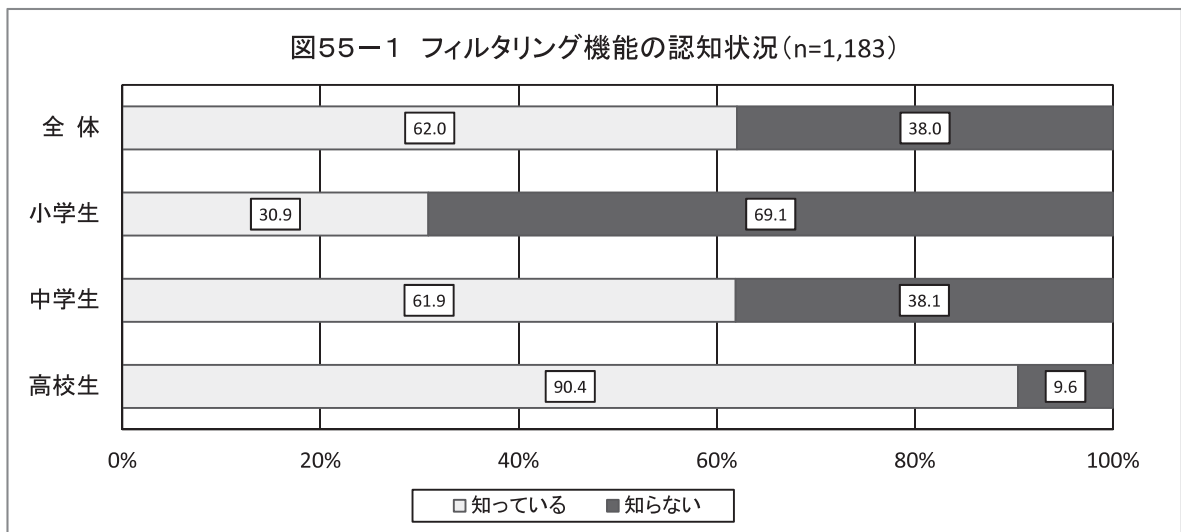
(6) あなたは、携帯電話やスマートフォンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が62.0%で「知らない」(38.0%)を24ポイント上回っている。

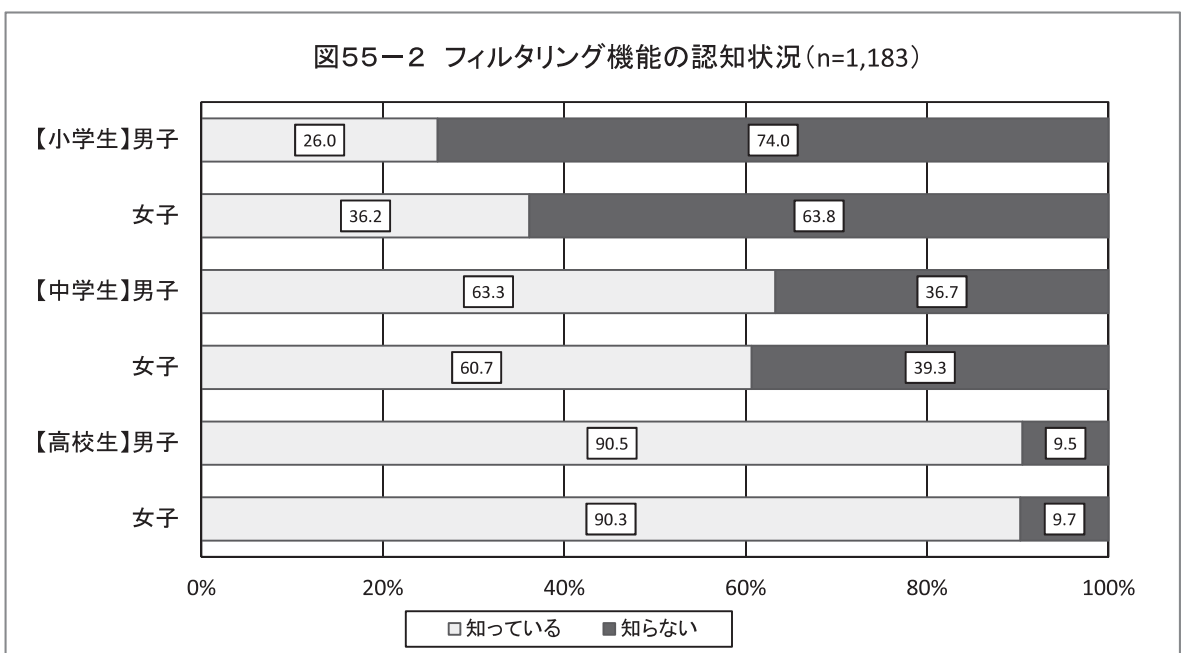
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が90.4%で最も高く、以下、中学生(61.9%)、小学生(30.9%)となっている。



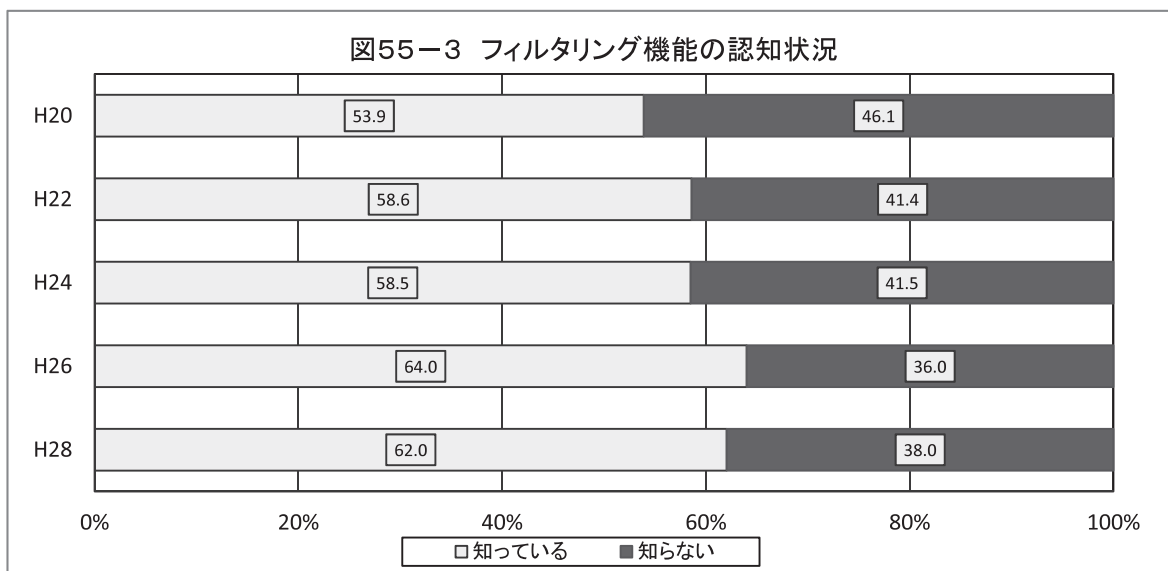
【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校男子が90.5%で最も高く、以下、高校女子(90.3%)、中学男子(63.3%)、中学女子(60.7%)となっている。また、中学生、高校生は男子のほうが女子よりも高いが、小学生は女子のほうが男子よりも高い。



【経年変化】

「知っている」について、過去の調査と比較すると、26年度までは増加傾向にあったが、28年度は26年度調査より2.0ポイントの減少となっている。



< フィルタリング機能の利用状況(携帯電話・スマートフォン) >

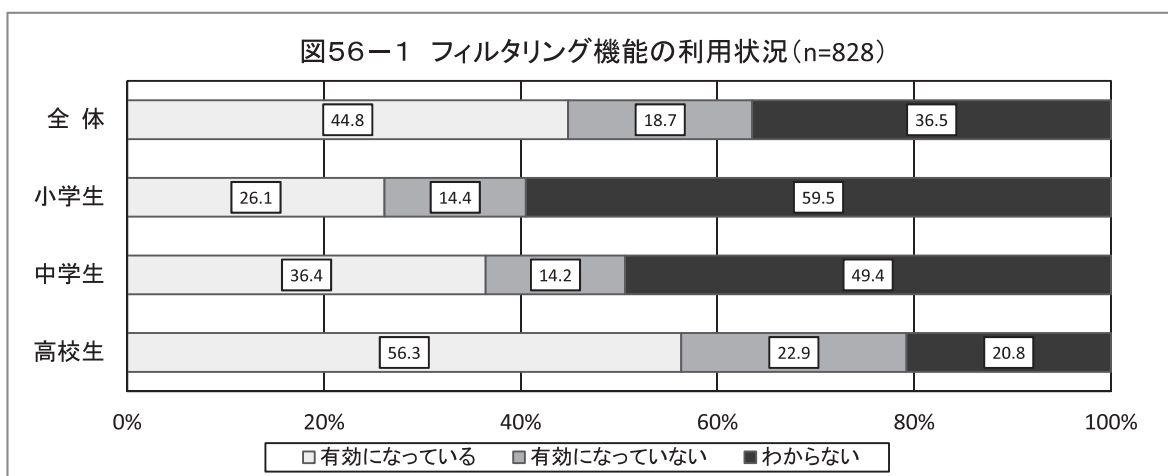
(7) 携帯電話又はスマートフォンを持っている人はお答えください。フィルタリング機能は有効になっていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

使用している携帯電話のフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「有効になっている」が44.8%で最も高く、以下「わからない」(36.5%)、「有効になっていない」(18.7%)となっている。

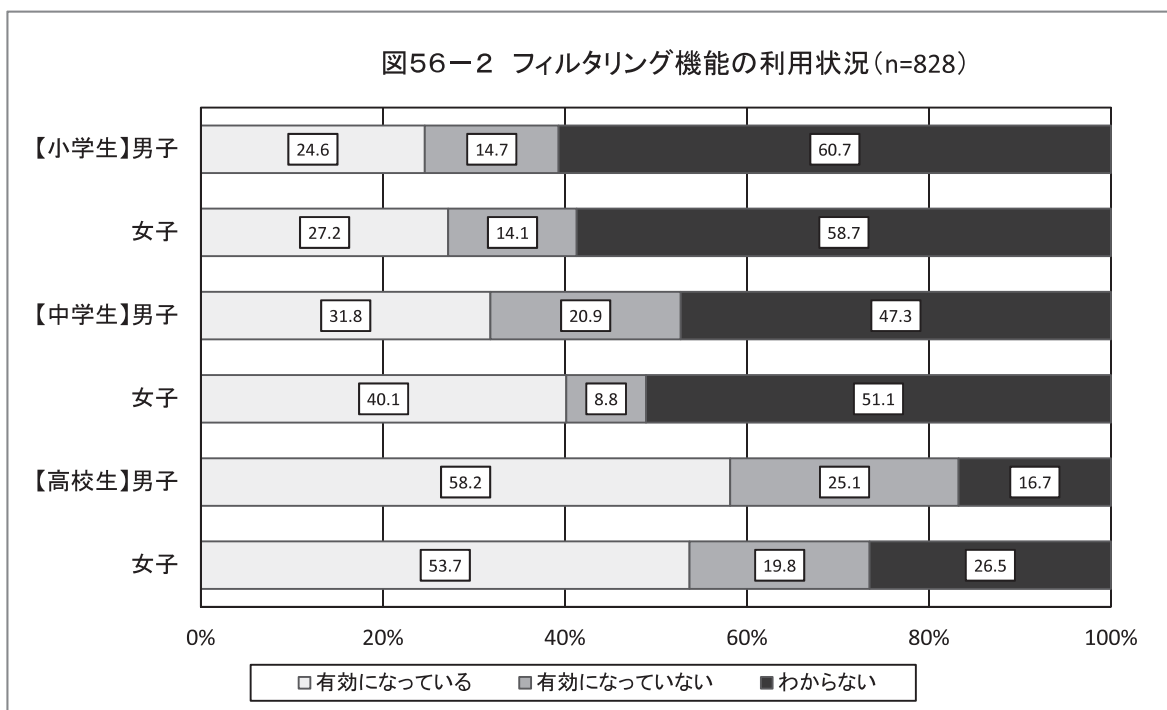
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が56.3%で最も高く、以下、中学生(36.4%)、小学生(26.1%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が22.9%で最も高く、以下、小学生(14.4%)、中学生(14.2%)となっている。また、小学生については、半数以上が「わからない」(59.5%)となっている。



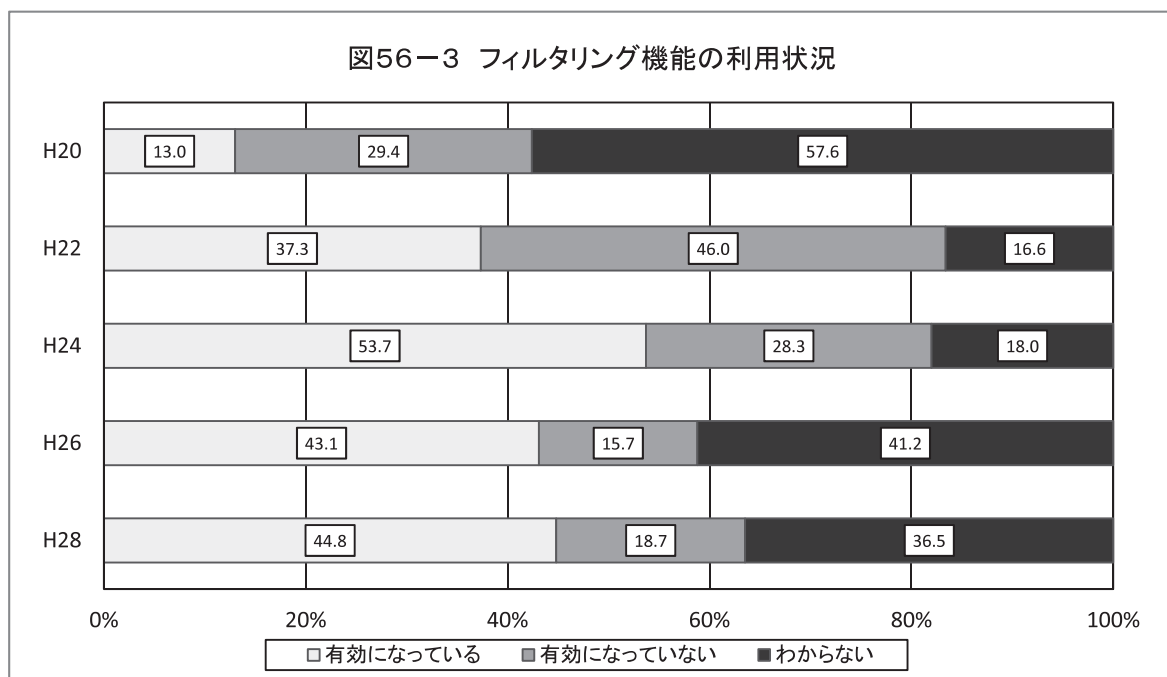
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校男子が58.2%で最も高い。また、小学生、中学生は女子のほうが男子よりも高いが、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「有効になっている」について、26年度調査より1.7ポイント増加し、「有効になっていない」について、減少傾向にあるが、26年度調査より3.0ポイント増加している。



< 自由に使えるパソコンの所有状況 >

問20 パソコンについてお聞きします。

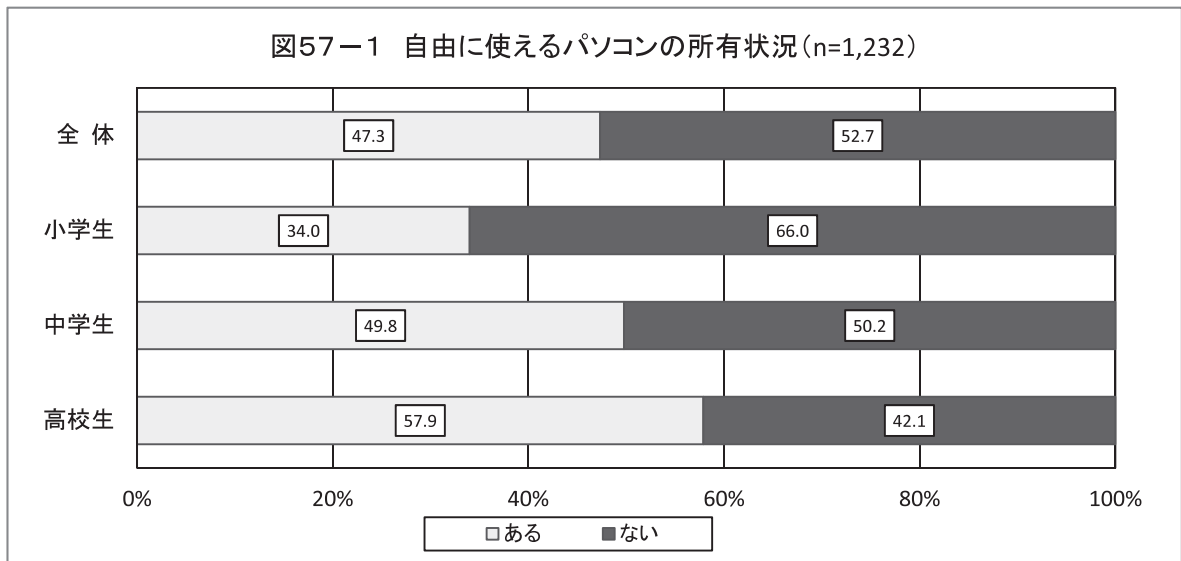
(1) あなたの家には、あなたが自由に使えるパソコンがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンがあるかどうかを尋ねたところ、「ある」が47.3%となっており、「ない」(52.7%)よりも5.4ポイント低い。

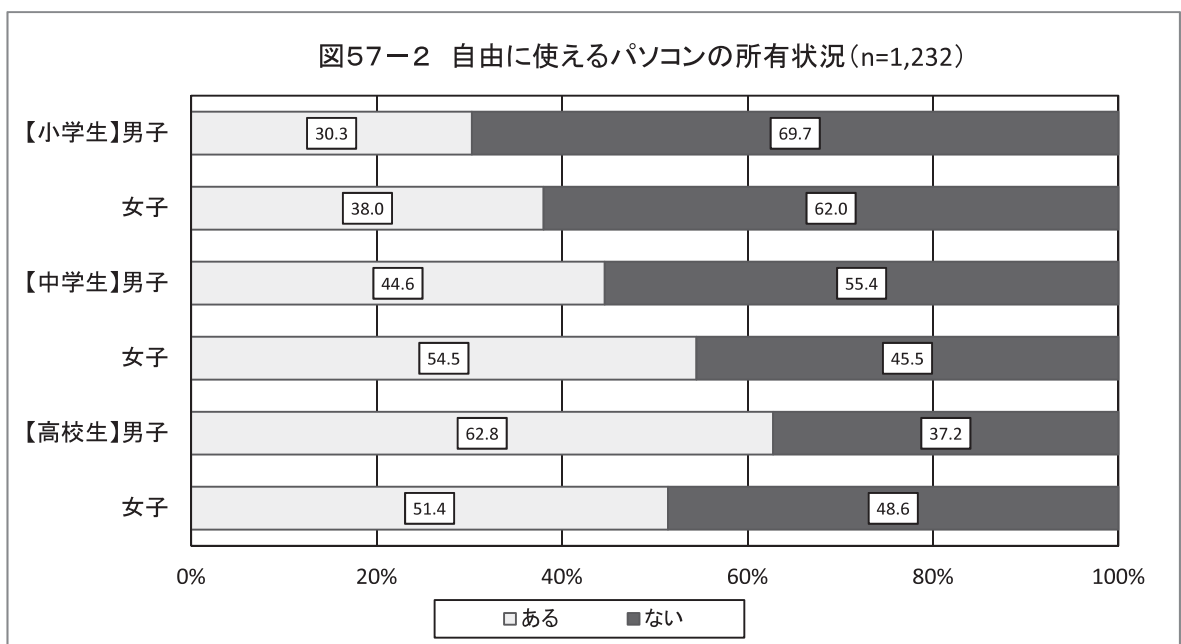
【学校種別集計結果】

自由に使えるパソコンの所有率が最も高いのは、高校生の57.9%で、以下、中学生が49.8%、小学生が34.0%となっている。



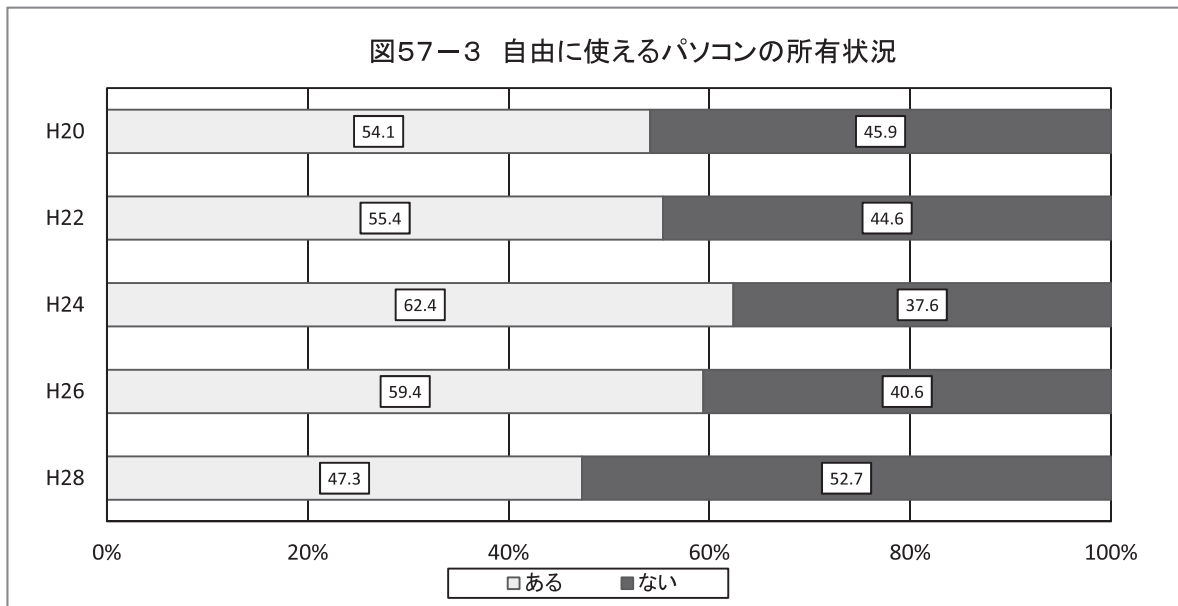
【属性別集計結果】

自由に使えるパソコンの所有率が最も高いのは、高校男子で62.8%となっており、以下、中学女子(54.5%)、高校女子(51.4%)などとなっている。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、自由に使えるパソコンの所有率が26年度調査に比べて12.1ポイント減少している。



< 自由に使えるパソコンの使用目的 >

(2)	(1)で「1 ある」を選んだ人はお答えください。あなたは、パソコンをどのような目的で使うことが多いですか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
-----	---

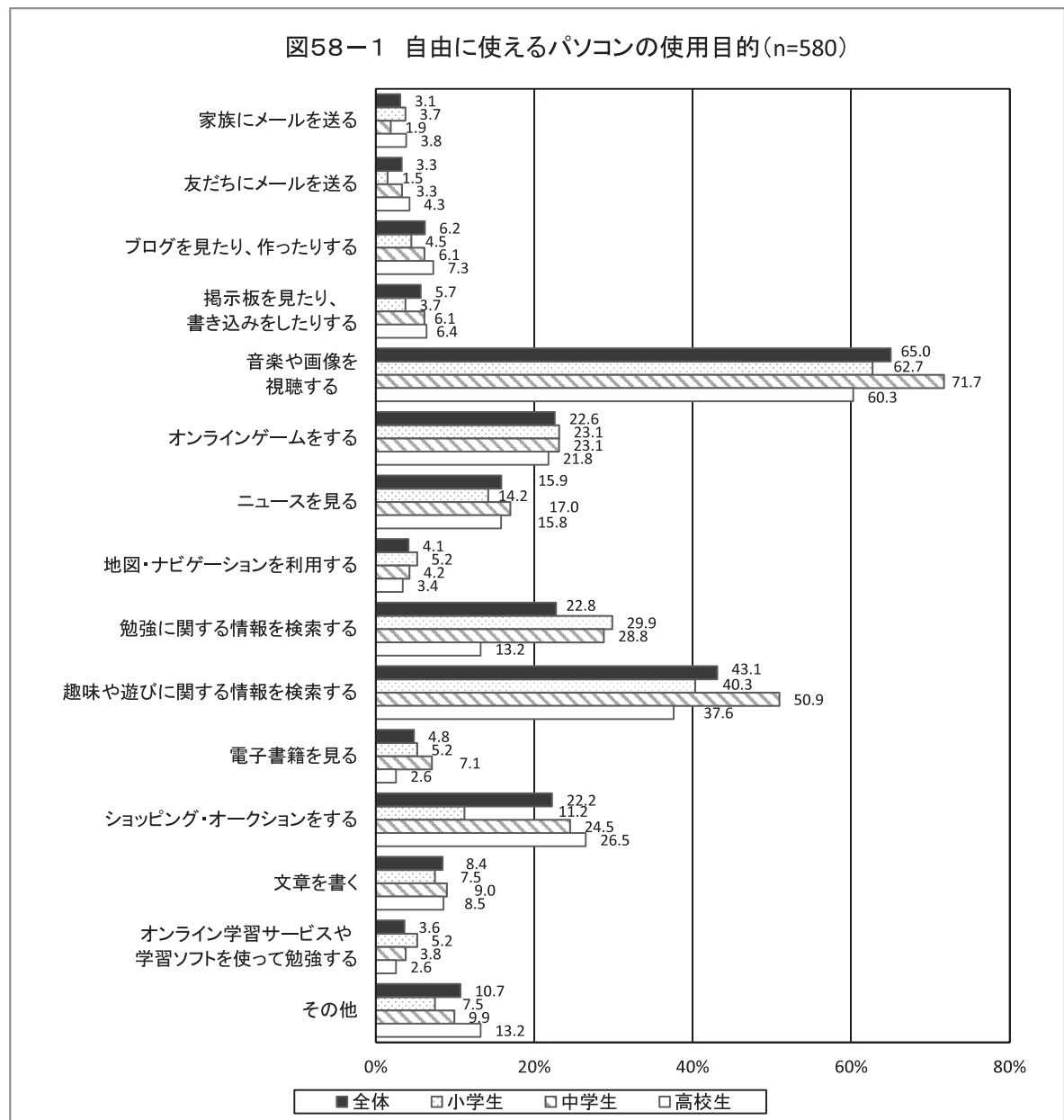
【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用目的を尋ねたところ、「音楽や画像を視聴する」が65.0%で最も高く、以下、「趣味や遊びに関する情報を検索する」(43.1%)、「勉強に関する情報を検索する」(22.8%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「音楽や画像を視聴する」(小学生:62.7%、中学生:71.7%、高校生:60.3%)、「趣味や遊びに関する情報を検索する」(小学生:40.3%、中学生:50.9%、高校生:37.6%)が上位を占めている。

以下、小学生、中学生は「勉強に関する情報を検索する」(小学生29.9%、中学生28.8%)、高校生は「ショッピング・オークションをする」(26.5%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようにしている。

〈小学男子〉

- 「音楽や画像を視聴する」(48.4%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(35.5%)
- 「勉強に関する情報を検索する」(27.4%)

〈中学男子〉

- 「音楽や画像を視聴する」(68.1%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(49.5%)
- 「オンラインゲームをする」(27.5%)

〈高校男子〉

- 「音楽や画像を視聴する」(56.6%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(37.2%)
- 「オンラインゲームをする」(29.7%)

〈小学女子〉

- 「音楽や画像を視聴する」(75.0%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(44.4%)
- 「勉強に関する情報を検索する」(31.9%)

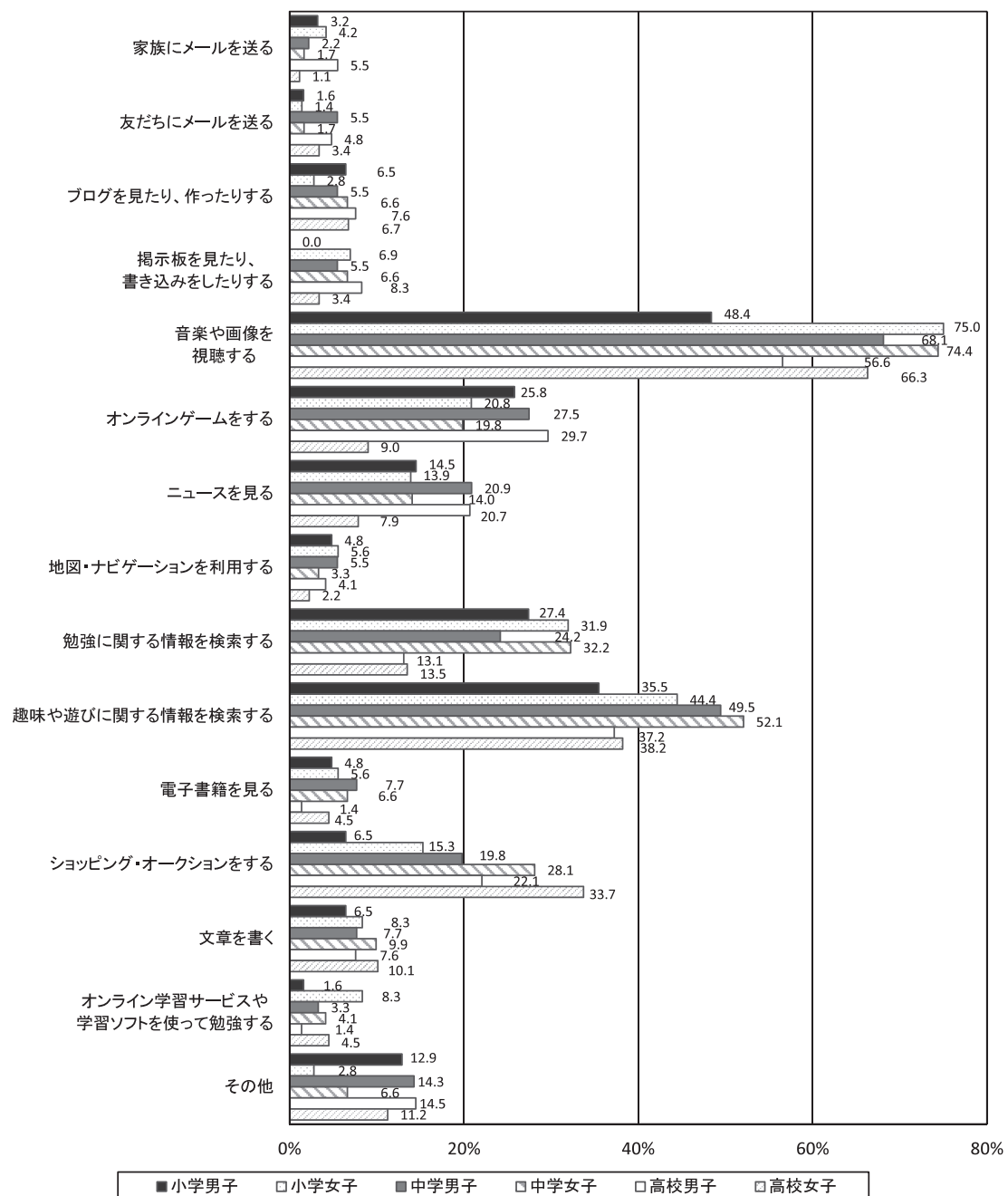
〈中学女子〉

- 「音楽や画像を視聴する」(74.4%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(52.1%)
- 「勉強に関する情報を検索する」(32.2%)

〈高校女子〉

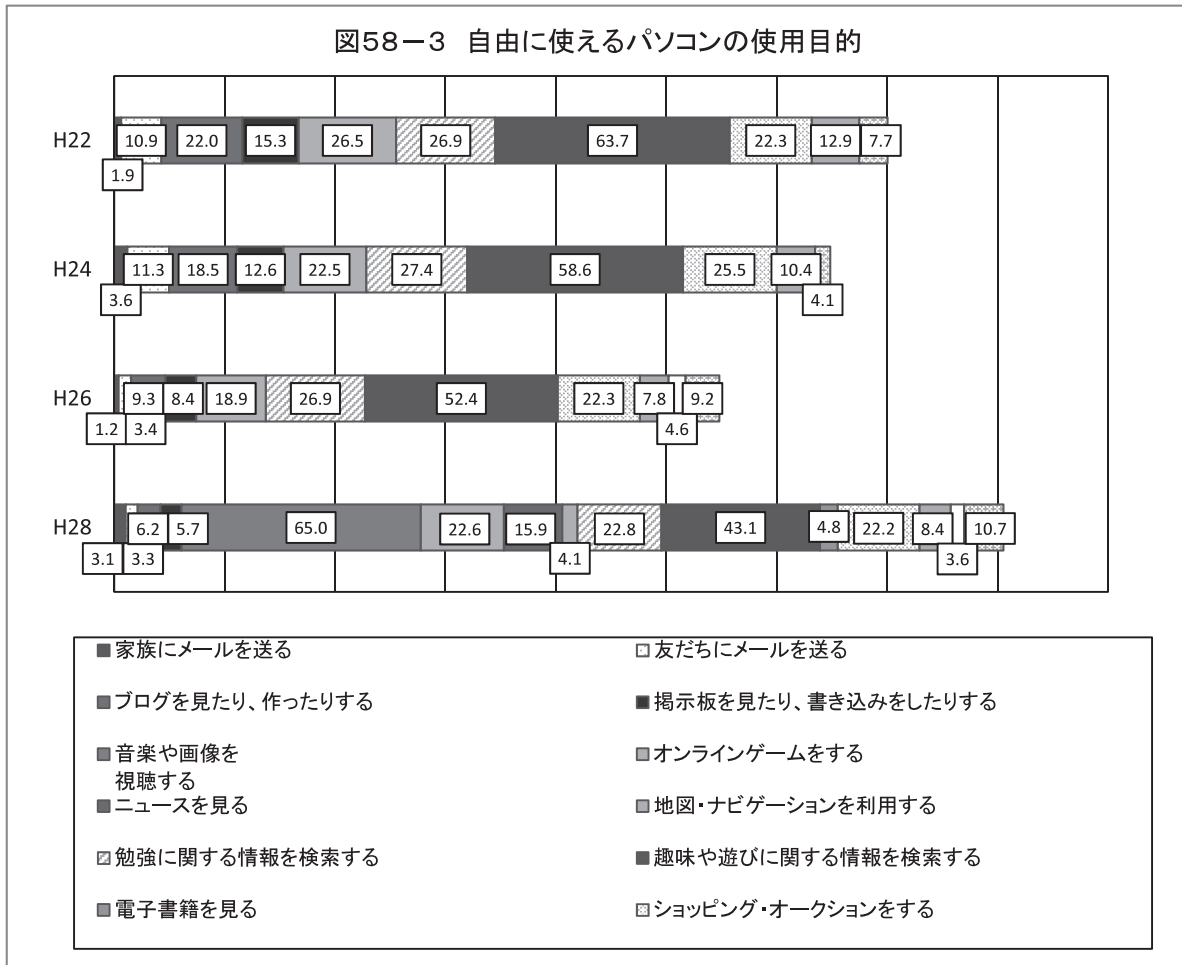
- 「音楽や画像を視聴する」(66.3%)
- 「趣味や遊びに関する情報を検索する」(38.2%)
- 「ショッピング・オークションをする」(33.7%)

図58-2 自由に使えるパソコンの使用目的



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「友だちにメールを送る」、「ブログを見たり、作ったりする」、「掲示板を見たり、書き込みをしたりする」、「趣味や遊びに関する情報を検索する」が減少している。



< 自由に使えるパソコンの使用時間 >

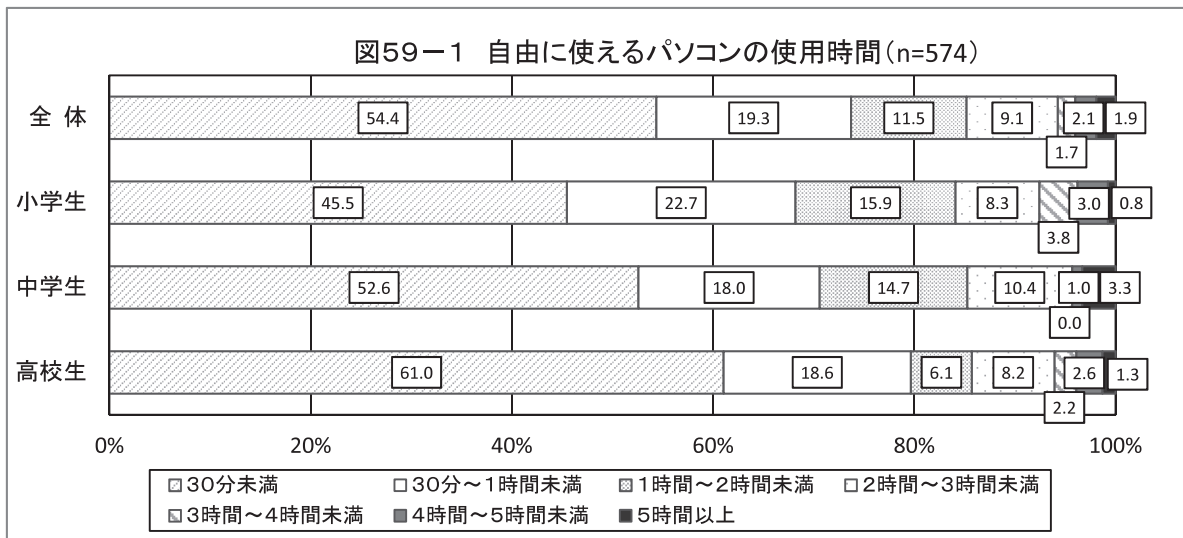
(3) (1)で「1 ある」を選んだ人はお答えください。あなたは、パソコンを1日にどのくらい使用していますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自由に使えるパソコンの使用時間を尋ねたところ、「30分未満」が54.4%で最も高く、以下、「30分～1時間未満」(19.3%)、「1時間～2時間未満」(11.5%)などとなっている。

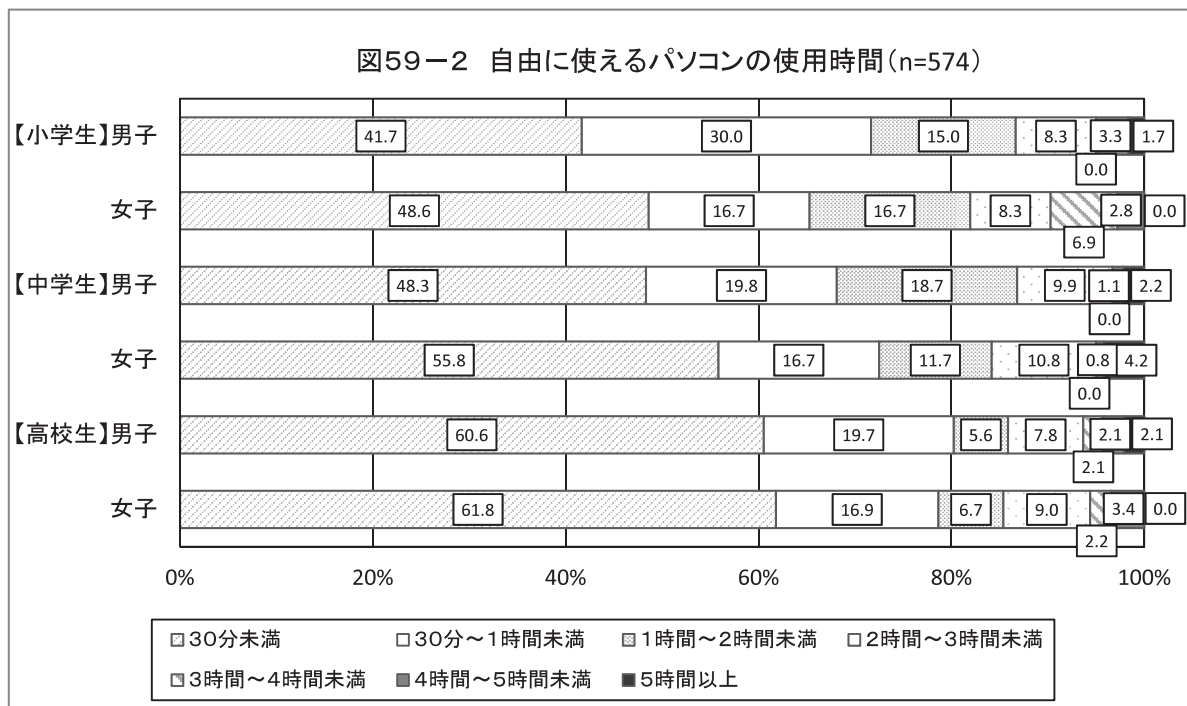
【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「30分未満」(小学生:45.5%、中学生:52.6%、高校生:61.0%)の割合が最も高い。



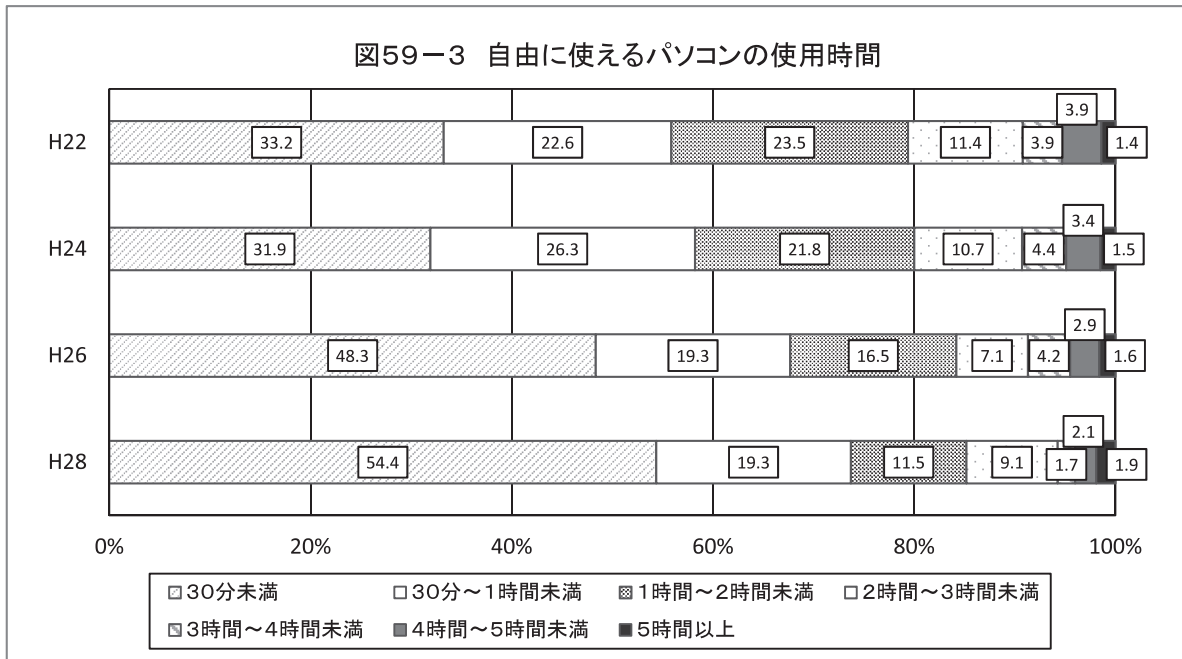
【属性別集計結果】

使用時間について、小学生男女、中学生男女、高校生男女のいずれも「30分未満」の割合が最も高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「30分未満」が増加している。一方、「1時間～2時間未満」が減少している。



< フィルタリング機能の認知状況(パソコン) >

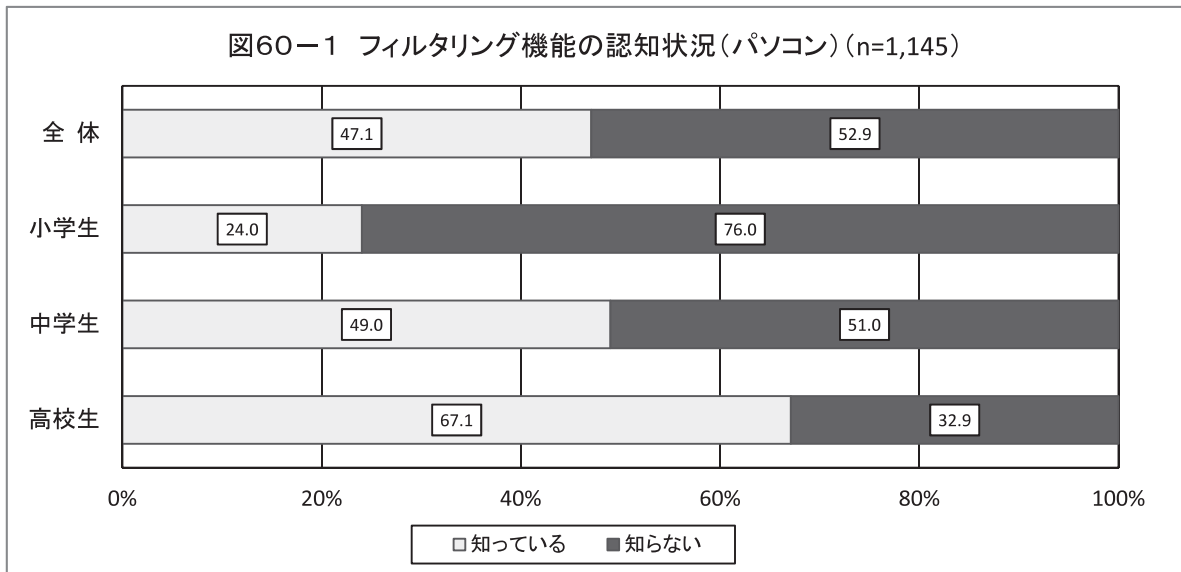
(4) あなたは、パソコンのフィルタリング機能(青少年にとって好ましくないサイトを見られないようにする機能)について、知っていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

フィルタリング機能を知っているかどうか尋ねたところ、「知っている」が47.1%で「知らない」(52.9%)より5.8ポイント低い。

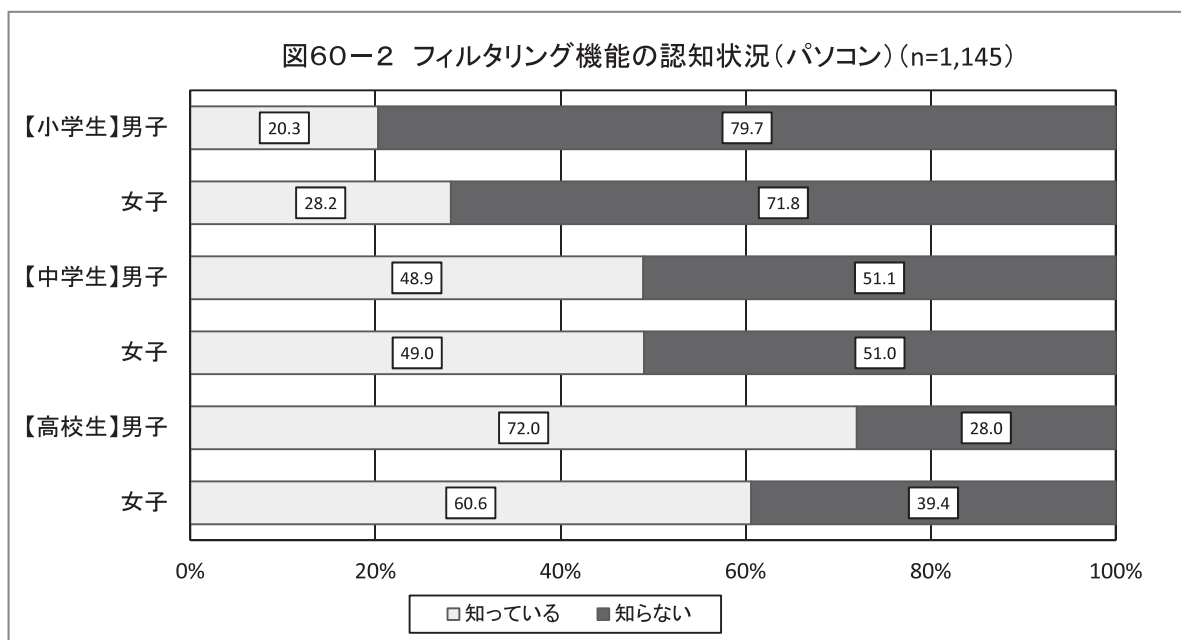
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、高校生が67.1%で最も高く、以下、中学生(49.0%)、小学生(24.0%)となっている。



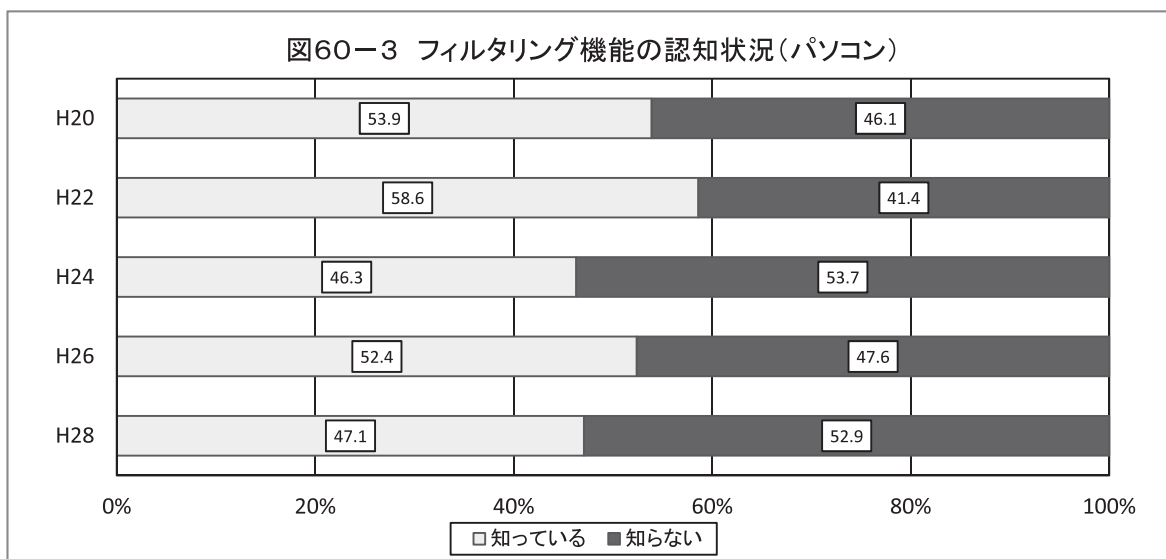
【属性別集計結果】

「知っている」を見てみると、高校男子が72.0%で最も高く、以下、高校女子(60.6%)、中学女子(49.0%)、中学男子(48.9%)となっている。また、小学生は女子のほうが男子より高く、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「知っている」が26年度調査より5.3ポイント減少している。



< フィルタリング機能の利用状況(パソコン) >

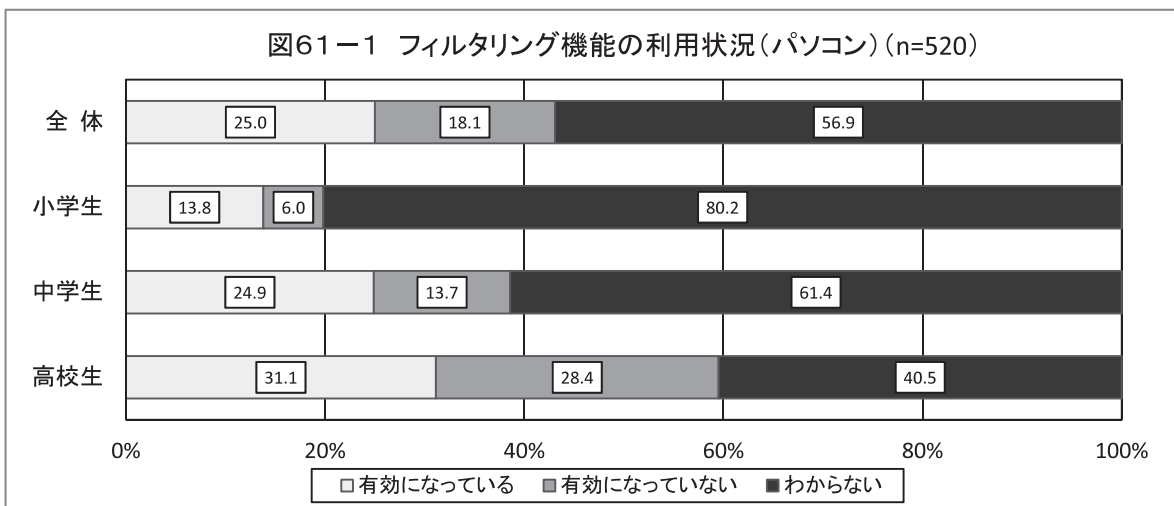
(5) (1)で「1 ある」を選んだ人はお答えください。あなたが使用しているパソコンは、フィルタリング機能が有効になっていますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

使用しているパソコンのフィルタリング機能が有効になっているかどうかを尋ねたところ、「わからない」が56.9%で最も高く、以下「有効になっている」(25.0%)、「有効になっていない」(18.1%)となっている。

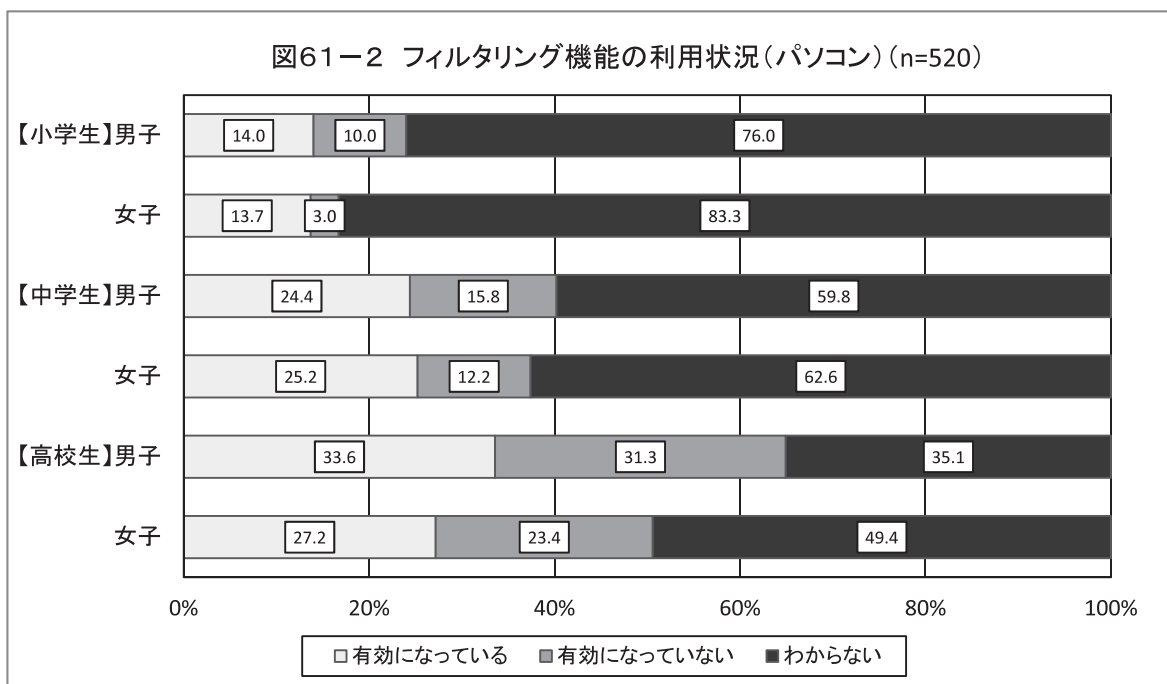
【学校種別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校生が31.1%で最も高く、以下、中学生(24.9%)、小学生(13.8%)となっている。一方、「有効になっていない」を見てみると、高校生が28.4%で最も高く、以下、中学生(13.7%)、小学生(6.0%)となっている。また、小学生については、「わからない」が80.2%となっている。



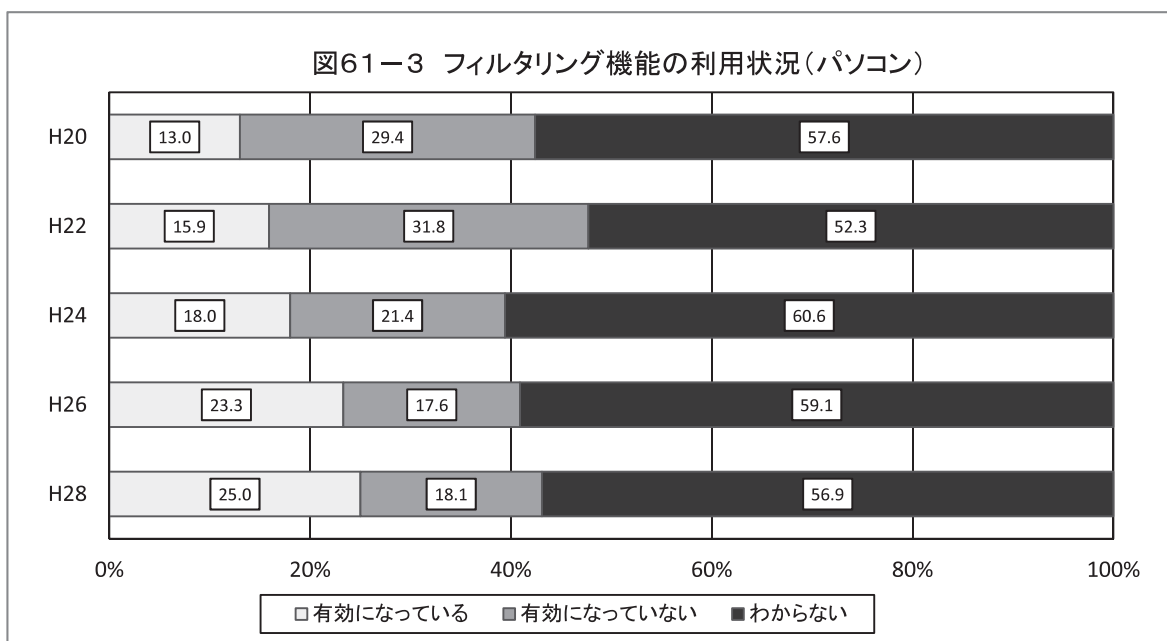
【属性別集計結果】

「有効になっている」を見てみると、高校男子が33.6%で最も高い。また、小学生、中学生は男女の差がほとんど見られないが、高校生は男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、「有効になっている」が26年度調査より1.7ポイント増加している。



< 年齢が制限されているサイトへのアクセス状況 >

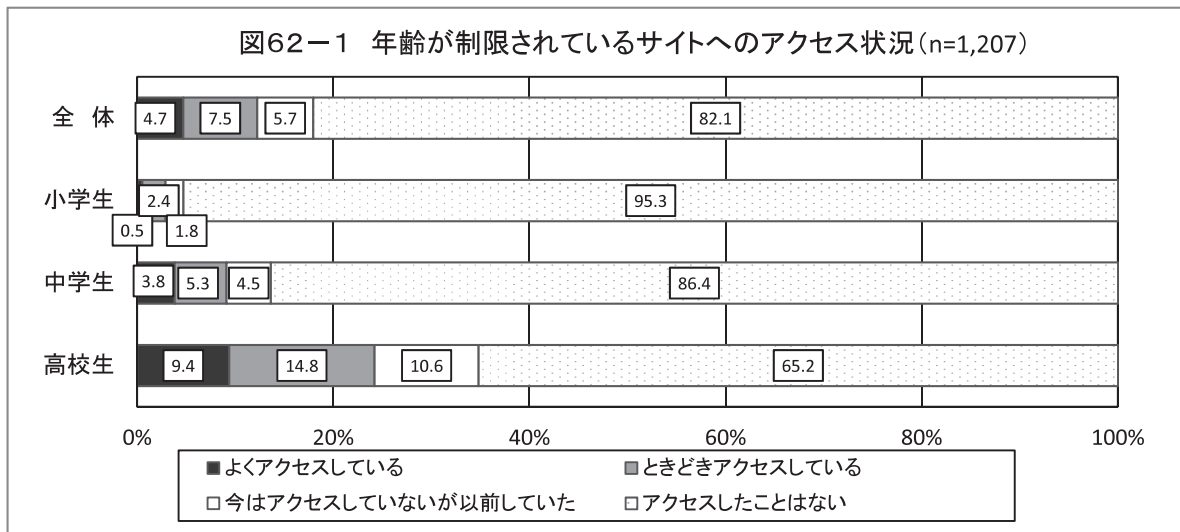
問21(1) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使って、年齢が制限されているサイトにアクセスしたことはありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

年齢が制限されているサイトにアクセスしたことがあるかどうか尋ねたところ、「アクセスしたことはない」が82.1%で最も高い。

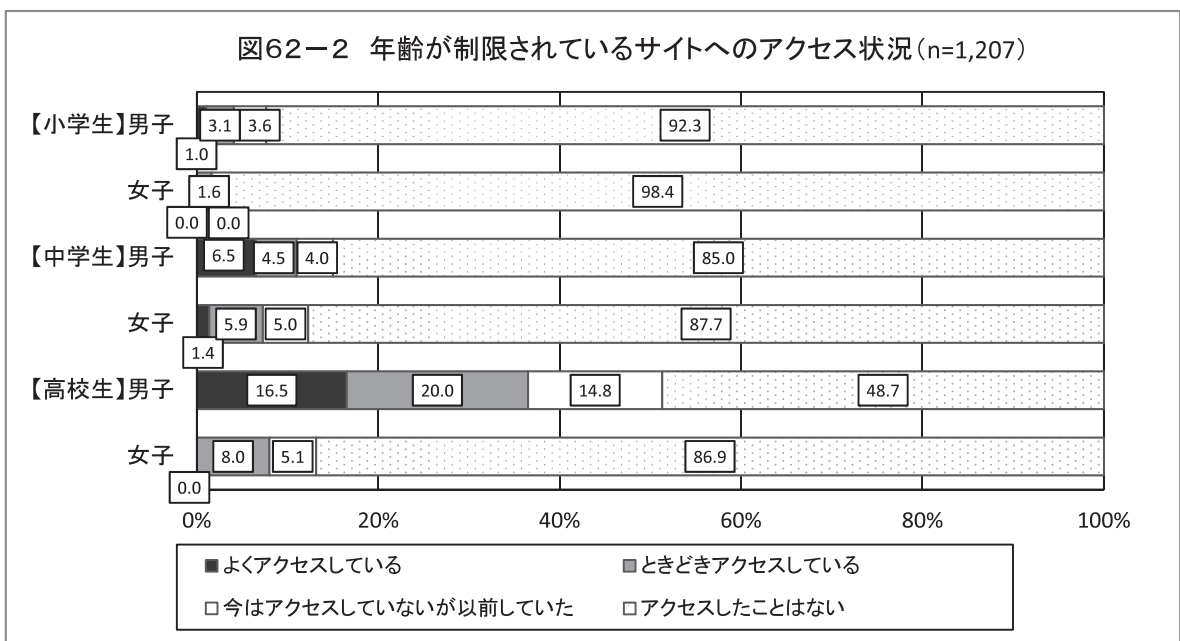
【学校種別集計結果】

「よくアクセスしている」、「ときどきアクセスしている」を合わせた『アクセスしたことがある』を見てみると、高校生が24.2%で最も高く、以下、中学生(9.1%)、小学生(2.9%)となっている。



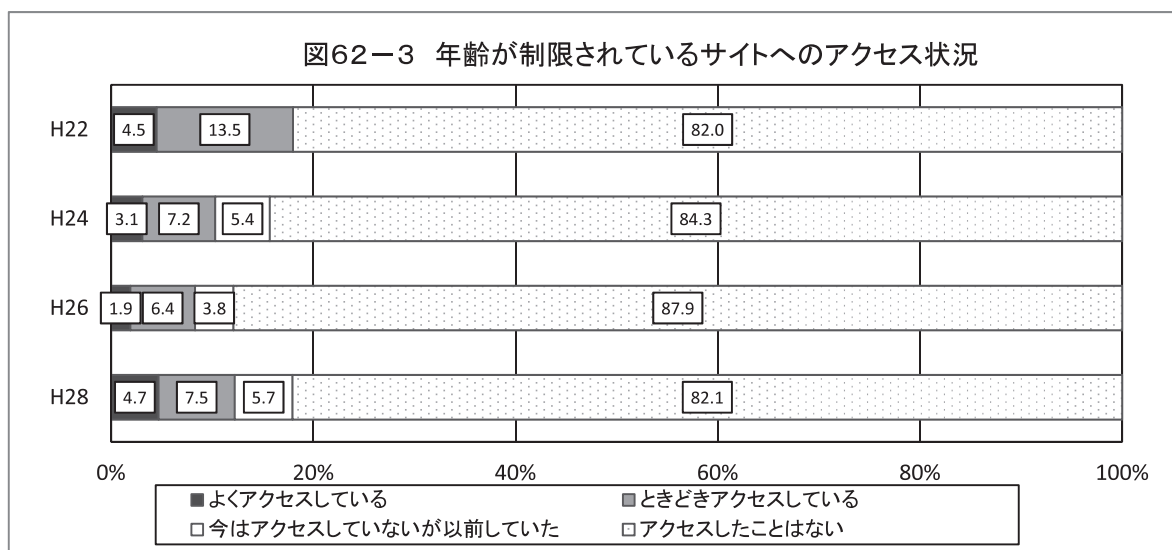
【属性別集計結果】

『アクセスしたことがある』を見てみると、高校男子が36.5%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生いずれも男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

過去の調査と比較すると、『アクセスしたことがある』が26年度調査より3.9ポイント増加している。



< 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況 >

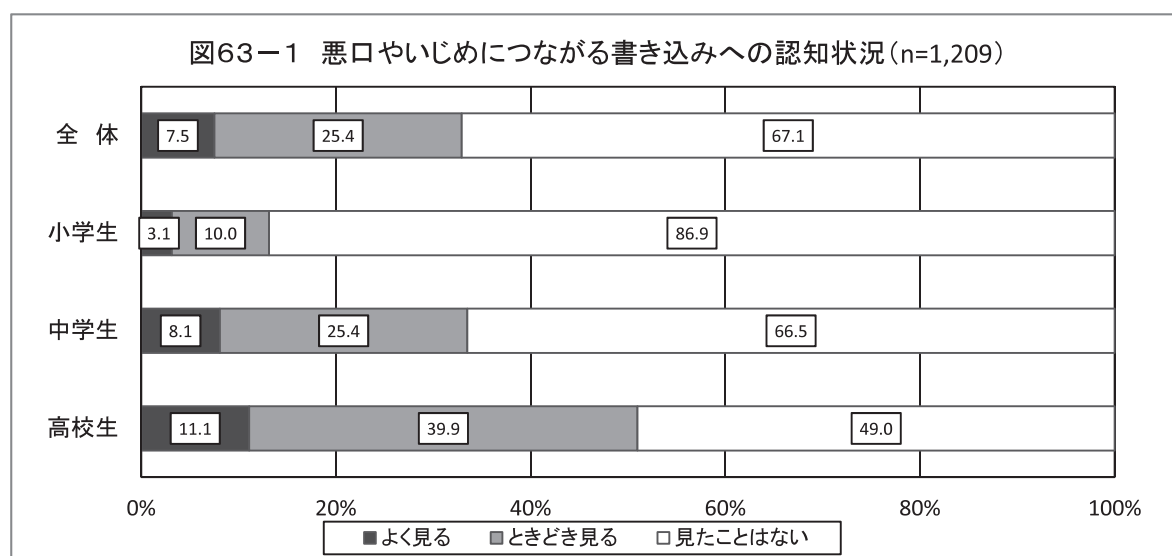
問21(2) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンで、悪口や、いじめにつながる書き込みを見たことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで、悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、「見たことはない」が67.1%と最も高く、以下「ときどき見る」(25.4%)、「よく見る」(7.5%)となっている。

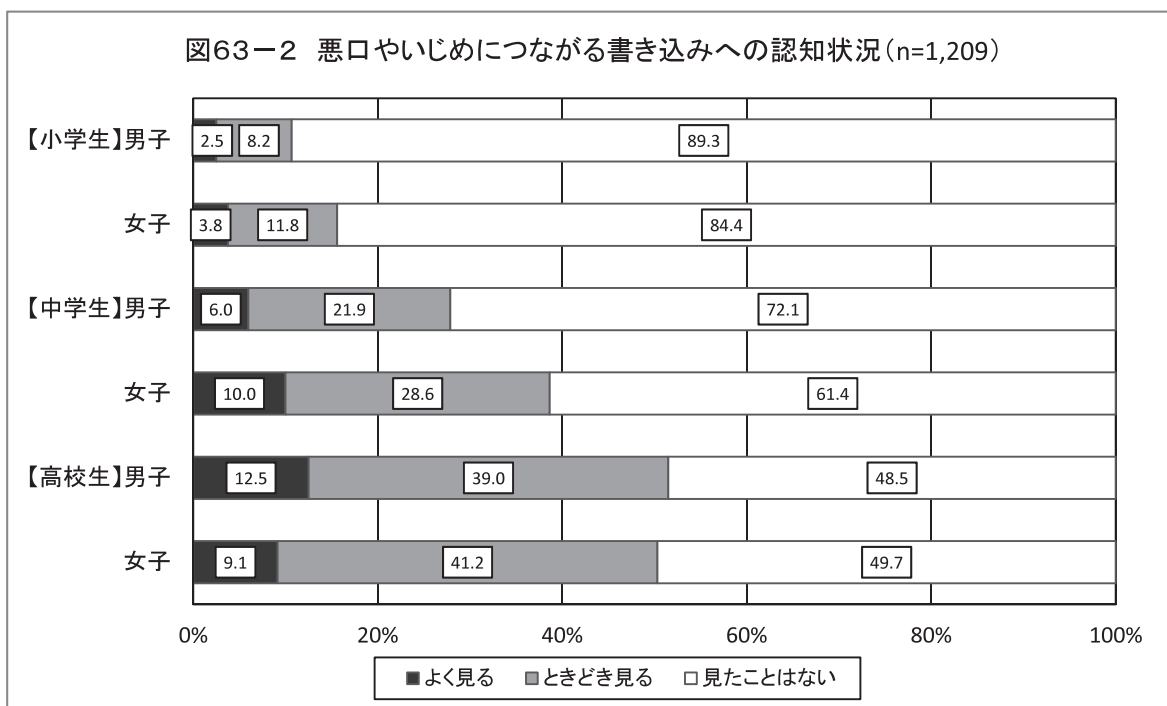
【学校種別集計結果】

「よく見る」、「ときどき見る」を合わせた『見たことがある』を見てみると、高校生が51.0%で最も高く、以下、中学生(33.5%)、小学生(13.1%)となっている。



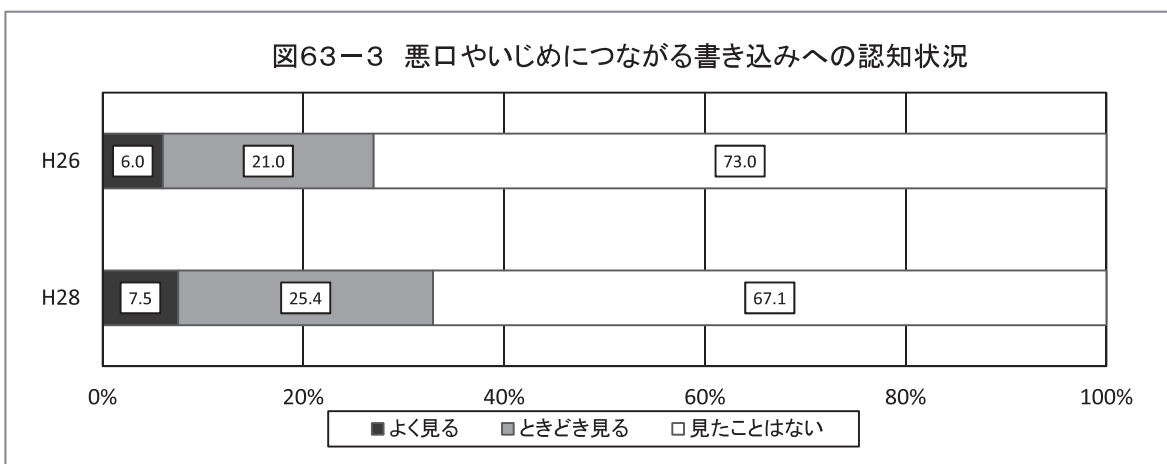
【属性別集計結果】

『見たことがある』を見てみると、高校男子が51.5%で最も高い。また、小学生、中学生では女子のほうが男子よりも高いが、高校生では男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

26年度調査と比較すると、『見たことがある』が5.9ポイント増加している。



<携帯電話・スマートフォン・パソコンによる睡眠不足などの影響 >

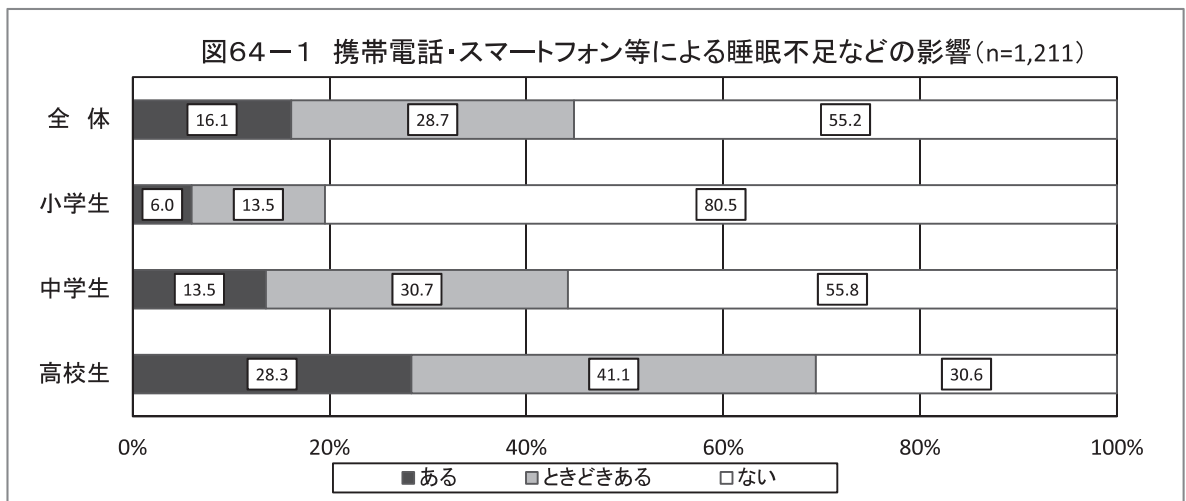
問21(3) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがあるか尋ねたところ、「ない」が55.2%で最も高く、以下「ときどきある」(28.7%)、「ある」(16.1%)となっている。

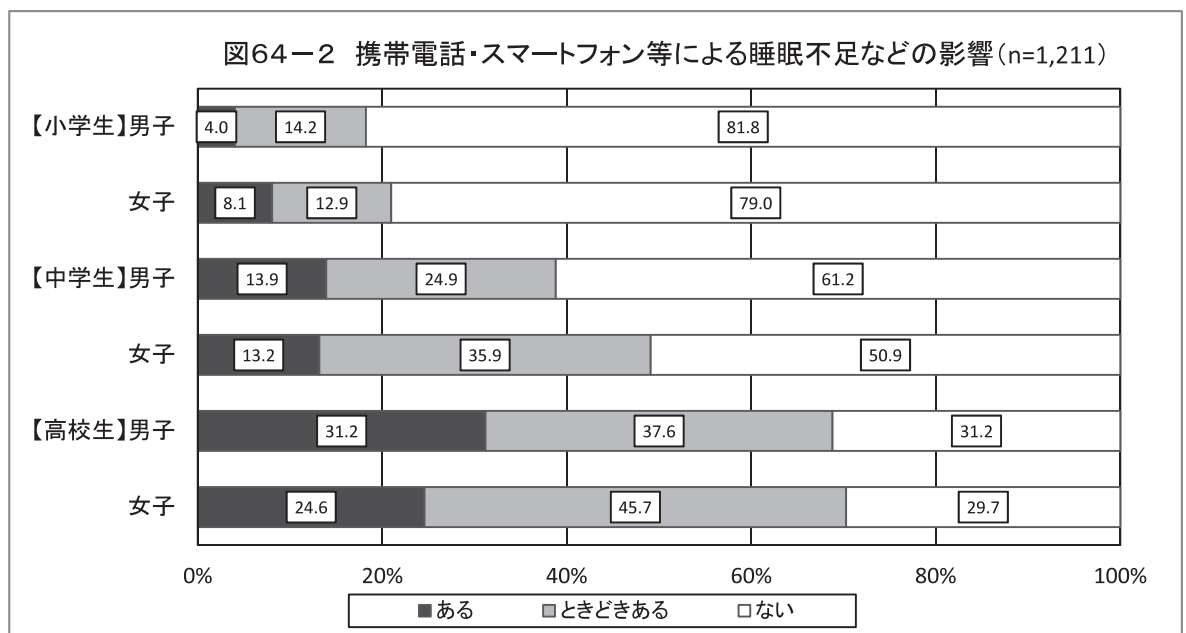
【学校種別集計結果】

「ある」について見てみると、高校生が28.3%で最も高く、以下、中学生(13.5%)、小学生(6.0%)となっている。また、「ときどきある」について見てみると、高校生が41.1%で最も高く、以下、中学生(30.7%)、小学生(13.5%)となっている。



【属性別集計結果】

「ある」について見てみると、高校男子が31.2%で最も高く、以下高校女子(24.6%)、中学男子(13.9%)となっている。また、「ときどきある」について見てみると、高校女子が45.7%で最も高く、以下高校男子(37.6%)、中学女子(35.9%)となっている。



<インターネットで知り合った人とのメールなどのやりとり >

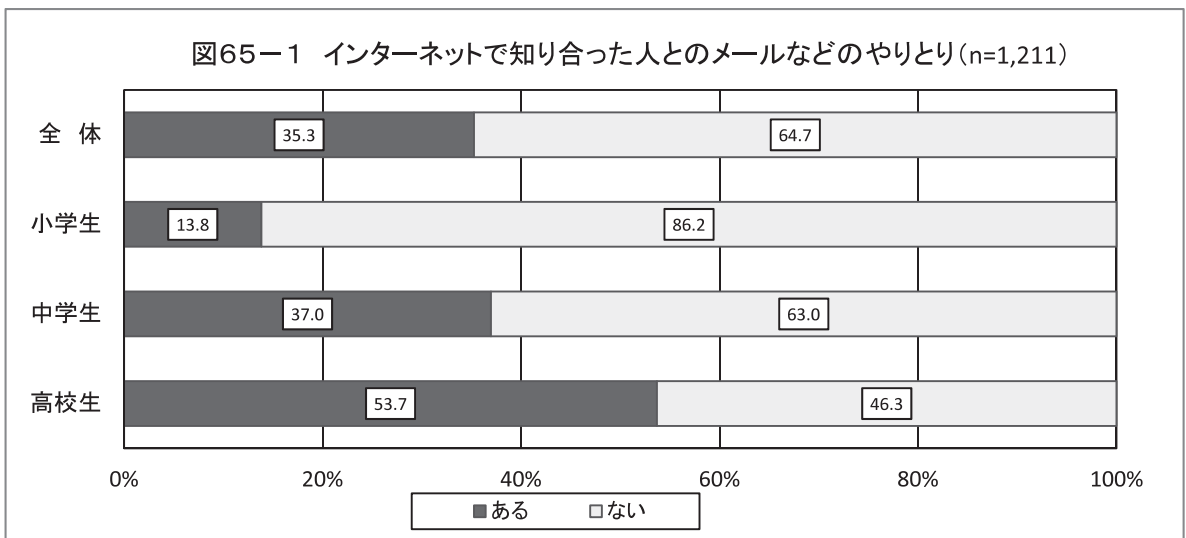
問21(4) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人と電話で会話したりメッセージやメールなどのやりとりをしたりしたことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人と電話やメールなどのやりとりをしたことがあるか尋ねたところ、「ある」が35.3%になっている。

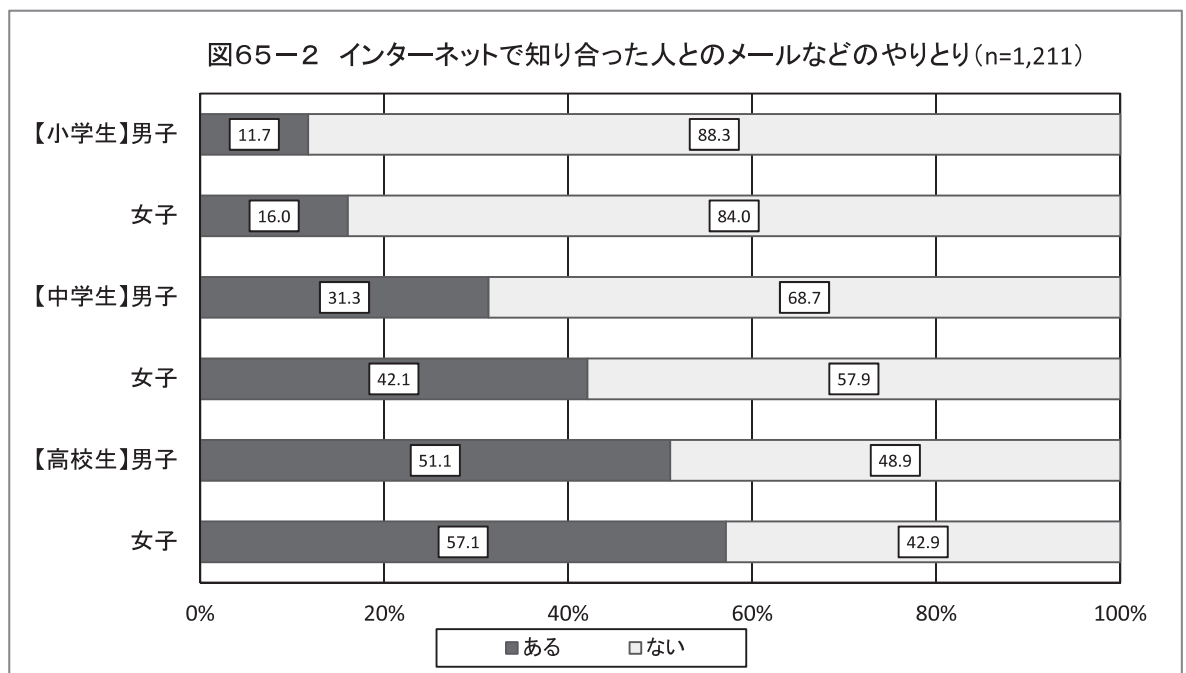
【学校種別集計結果】

「ある」について見てみると、高校生が53.7%で最も高く、以下、中学生(37.0%)、小学生(13.8%)となっている。



【属性別集計結果】

「ある」について見てみると、高校女子が57.1%で最も高く、以下高校男子(51.1%)、中学女子(42.1%)、中学男子(31.3%)となっている。



<インターネットで知り合った人と実際に会う>

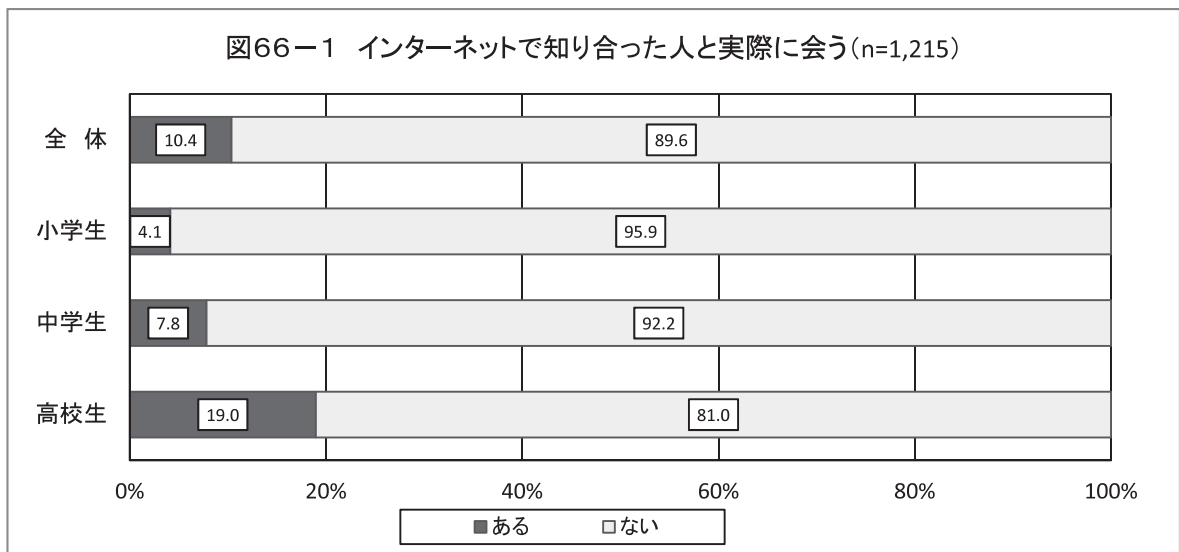
問21(5) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人と実際に会ったことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人と実際に会ったことがあるか尋ねたところ、「ある」が10.4%になっている。

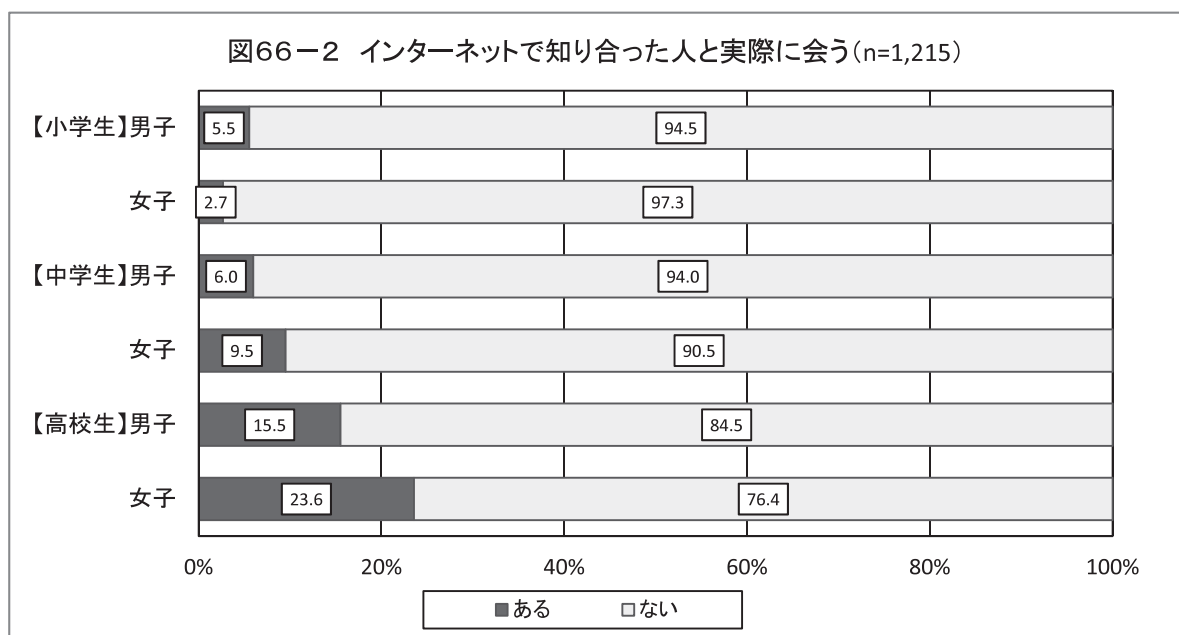
【学校種別集計結果】

「ある」について見てみると、高校生が19.0%で最も高く、以下、中学生(7.8%)、小学生(4.1%)となっている。



【属性別集計結果】

「ある」について見てみると、高校女子が23.6%で最も高く、以下高校男子(15.5%)、中学女子(9.5%)となっている。



<インターネットで知り合った人への写真や個人情報送信 >

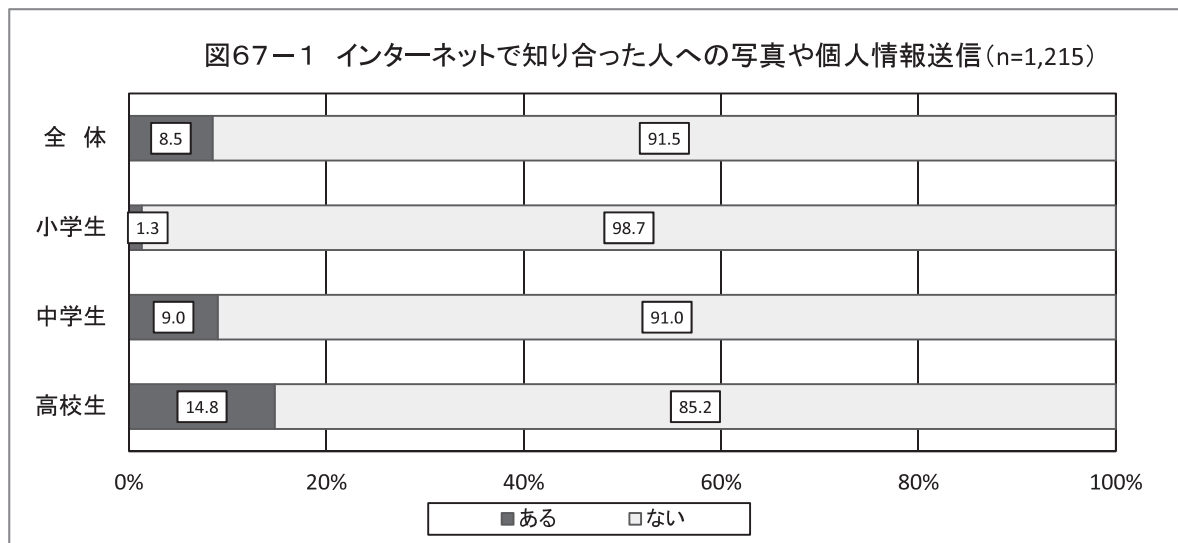
問21(6) あなたは、携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人に頼まれて自分の写真や個人情報などを送信したことがありますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

携帯電話やスマートフォン、パソコンで知り合った人に頼まれて個人情報などを送信したことがあるか尋ねたところ、「ある」が8.5%になっている。

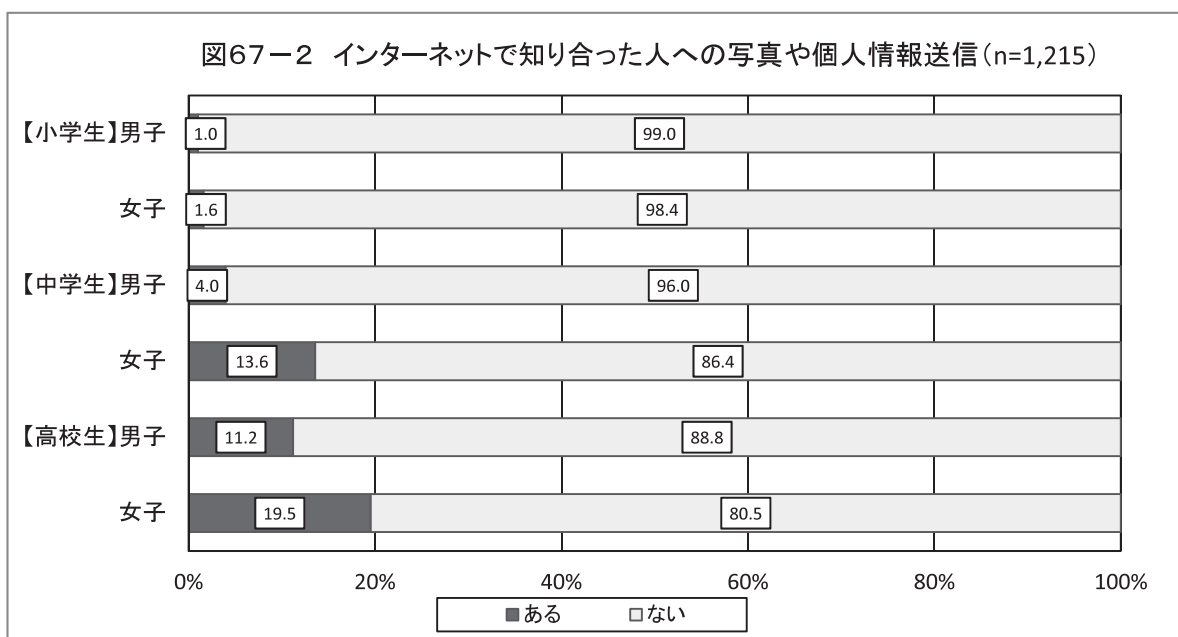
【学校種別集計結果】

「ある」について見てみると、高校生が14.8%で最も高く、以下、中学生(9.0%)、小学生(1.3%)となっている。



【属性別集計結果】

「ある」について見てみると、高校女子が19.5%で最も高く、以下中学女子(13.6%)、高校男子(11.2%)となっている。



<ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使ったインターネット・LINE等の利用状況 >

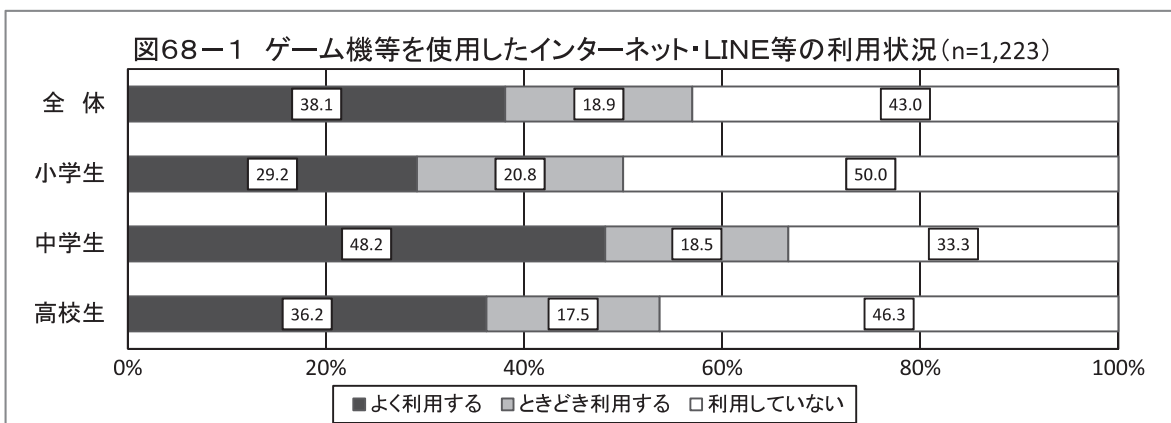
問21(7) あなたは、ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使って、インターネットやLINEなどを利用していますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

ゲーム機や携帯音楽プレーヤーを使って、インターネットやLINEなどを利用しているかどうか尋ねたところ、「利用していない」が43.0%と最も高い。

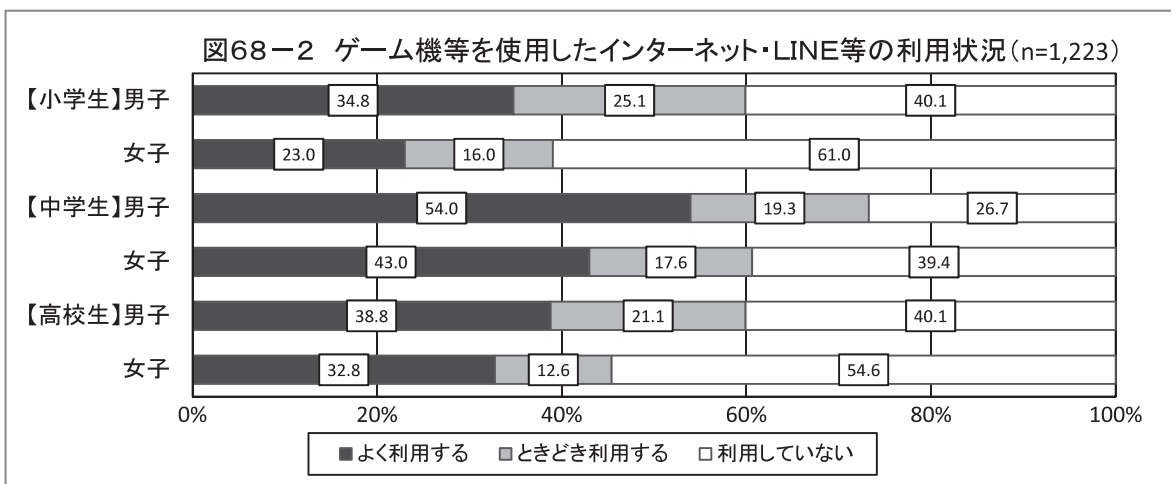
【学校種別集計結果】

「よく利用する」、「ときどき利用する」を合わせた『利用したことがある』を見てみると、中学生が66.7%で最も高く、以下、高校生(53.7%)、小学生(50.0%)となっている。



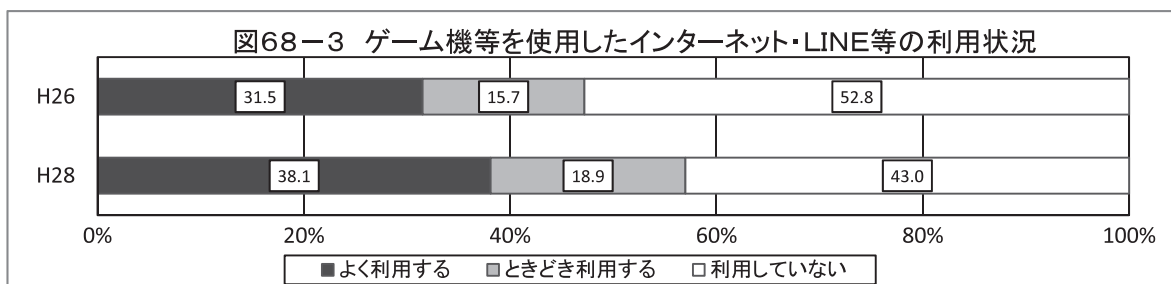
【属性別集計結果】

『利用したことがある』を見てみると、中学男子が73.3%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生いずれも男子のほうが女子よりも高い。



【経年変化】

26年度調査と比較すると、『利用したことがある』が9.8ポイント増加している。



＜ 携帯電話・スマートフォン・パソコンなどの家庭での使い方ルール ＞

問21(8)	あなたの家では、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの使い方について、何かルールがありますか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
--------	--

【全体集計結果】

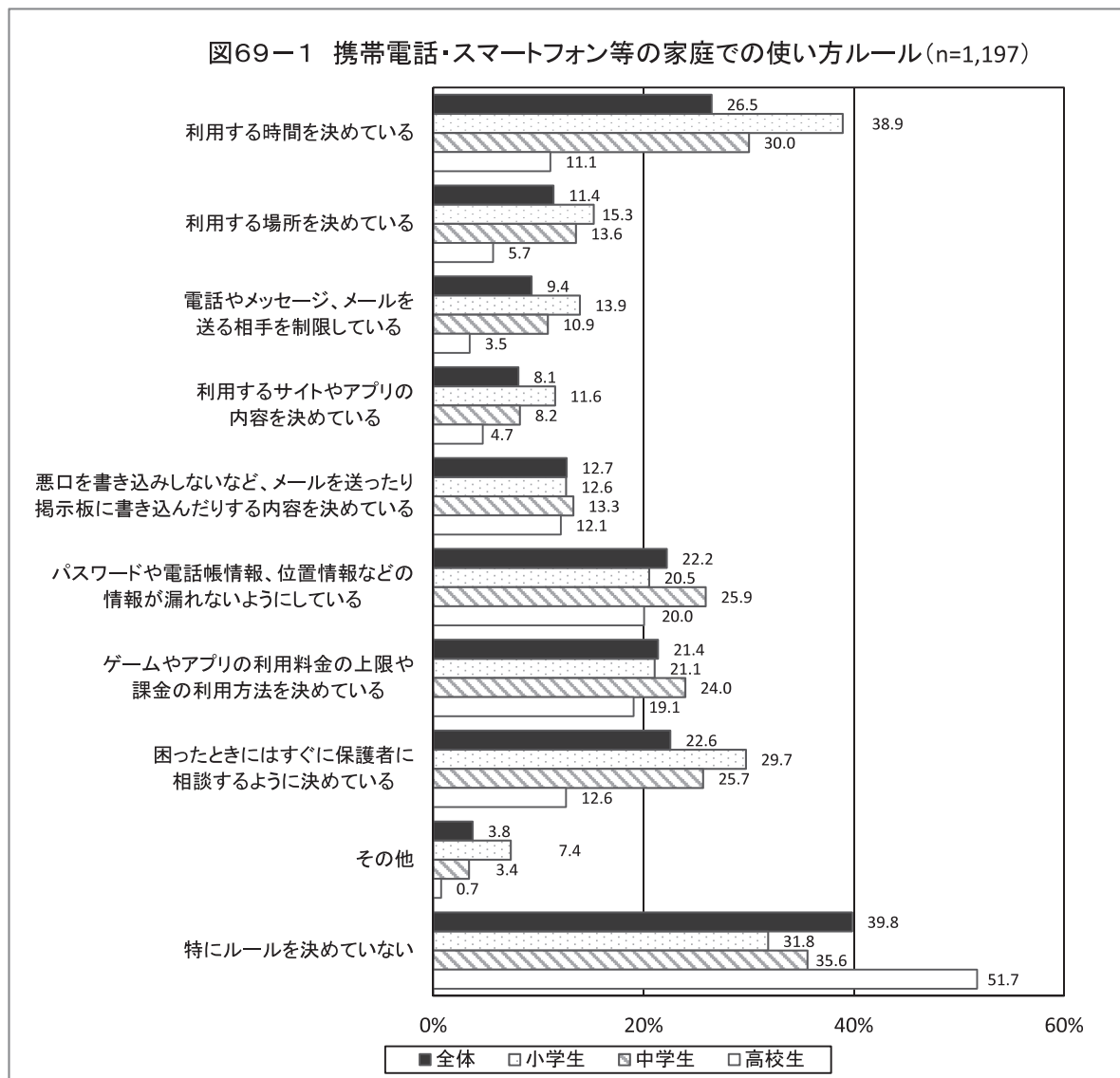
携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの使い方の家庭でのルールを尋ねたところ、「特にルールを決めていない」が39.8%で最も高く、以下、「利用する時間を決めている」(26.5%)、「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(22.6%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では「利用する時間を決めている」が38.9%で最も高く、以下「特にルールを決めていない」(31.8%)、「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(29.7%)などとなっている。

中学生、高校生のいずれも「特にルールを決めていない」(中学生:35.6%、高校生:51.7%)で最も高く、以下中学生では「利用する時間を決めている」(30.0%)、「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(25.9%)などとなり、高校生では「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(20.0%)、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(19.1%)などとなっている。

図69-1 携帯電話・スマートフォン等の家庭での使い方ルール(n=1,197)



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれ割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「特にルールを決めていない」(39.6%)
- 「利用する時間を決めている」(36.5%)
- 「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(20.3%)

〈中学男子〉

- 「特にルールを決めていない」(45.1%)
- 「利用する時間を決めている」(26.2%)
- 「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(20.0%)

〈高校男子〉

- 「特にルールを決めていない」(53.9%)
- 「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(17.8%)
- 「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(16.5%)

〈小学女子〉

- 「利用する時間を決めている」(41.5%)
- 「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(39.9%)
- 「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(25.1%)
- 「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(25.1%)

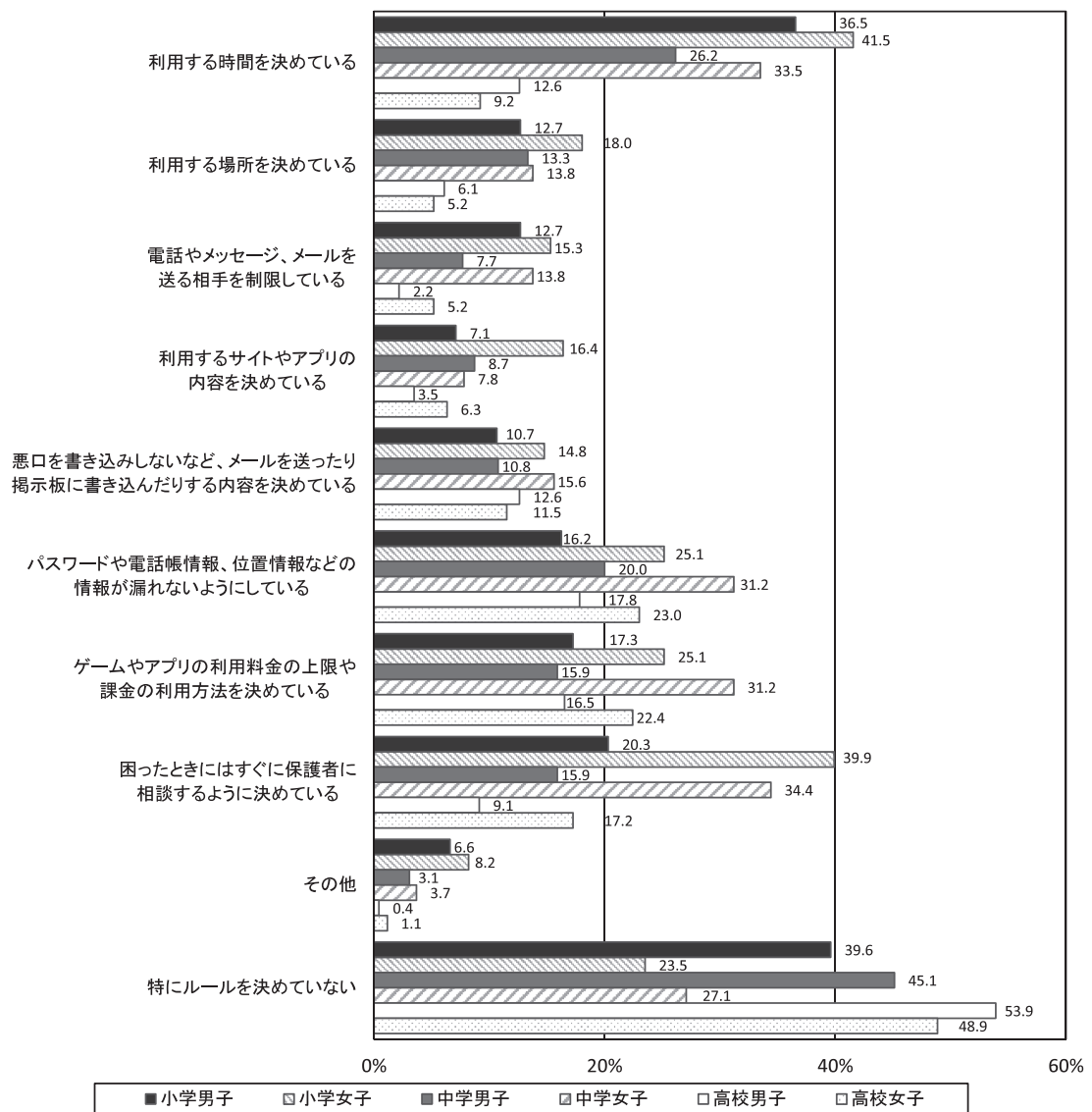
〈中学女子〉

- 「困ったときにはすぐに保護者に相談するように決めている」(34.4%)
- 「利用する時間を決めている」(33.5%)
- 「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(31.2%)
- 「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(31.2%)

〈高校女子〉

- 「特にルールを決めていない」(48.9%)
- 「パスワードや電話帳情報、位置情報などの情報が漏れないようにしている」(23.0%)
- 「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」(22.4%)

図69-2 携帯電話・スマートフォン等の家庭での使い方ルール(n=1,197)



<インターネットの危険性の学習 >

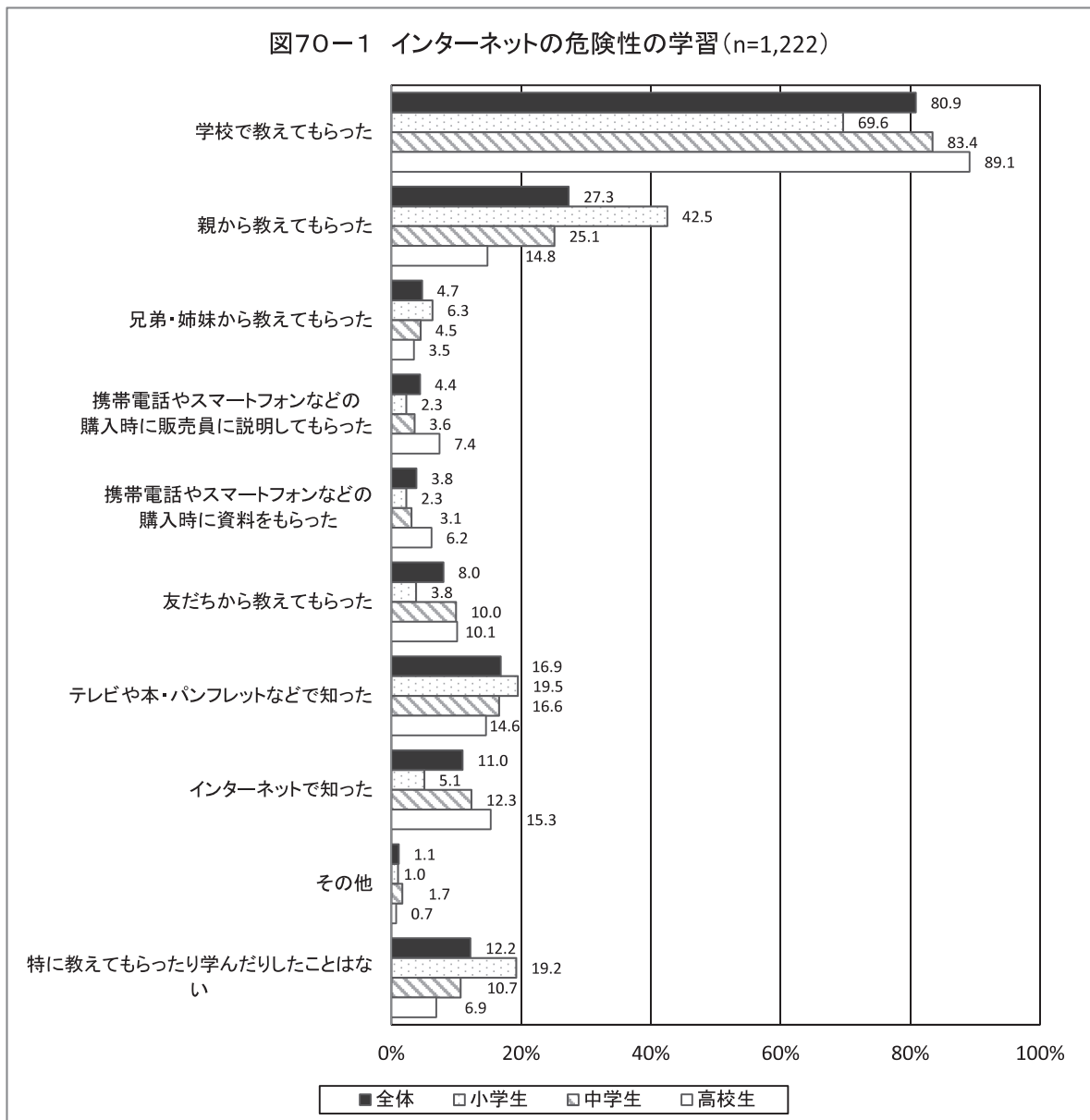
問21(9)	あなたは、青少年にとって好ましくないサイトやネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまで説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。
--------	--

【全体集計結果】

インターネットの危険性について説明を受けたり、学んだりしたことがあるか尋ねたところ、「学校で教えてもらった」が80.9%で最も高く、以下、「親から教えてもらった」(27.3%)、「テレビや本・パンフレットなどで知った」(16.9%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生、中学生、高校生のいずれも、「学校で教えてもらった」(小学生:69.6%、中学生:83.4%、高校生:89.1%)が最も高い。
 以下、小学生、中学生は「親から教えてもらった」(小学生42.5%、中学生25.1%)、「テレビや本・パンフレットなどで知った」(小学生19.5%、中学生16.6%)などとなっている。
 また、高校生は「インターネットで知った」(15.3%)、「親から教えてもらった」(14.8%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男女、中学男女、高校男女いずれも「学校で教えてもらった」が最も高く、以下小学男女、中学男女が「親から教えてもらった」、高校男子が「インターネットで知った」、高校女子が「テレビや本・パンフレットなどで知った」などとなっている。

図70-2 インターネットの危険性の学習(n=1,222)

